

令和元年度 NPO強化による復興創生事業  
「NPO、企業、学生等との連携・協力事業」業務及び  
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

# NPOと企業等のマッチング事業 報告書



福島県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

# 目次

|  |      |
|--|------|
| <b>1.事業の目的</b> .....                   | P.3  |
| <b>2.実施スケジュール</b> .....                | P.4  |
| <b>3.事前アンケート調査について</b> .....           | P.5  |
| <b>4.NPO事前講座について</b> .....             | P.10 |
| <b>5.NPOと企業とのマッチング会について</b> .....      | P.18 |
| <b>6.マッチング会における参加NPO等のプレゼン資料</b> ..... | P.26 |
| <b>7.マッチング事業 参加NPO</b> .....           | P.43 |
| <b>8.マッチング事業 参加企業</b> .....            | P.45 |
| <b>9.事後アンケート調査について</b> .....           | P.47 |
| <b>10.マッチング会後の成果</b> .....             | P.58 |



## 1 事業の目的

ますます多様化・複雑化する社会で、福島県においても多くのNPOが様々な地域課題に立ち向かい、解決すべく日々活動している。しかし、各団体の組織力・資金力は脆弱であり、社会の期待に応えきれているとは言い難いのが現状である。一方、企業のCSR活動は、各企業の社会的な存在意義や企業価値の向上を目指して盛んになりつつも、地域密着の貢献活動にするには、まだまだ時を要すると言わざるを得ない。そこで期待されているのが産学官民の連携、とりわけNPOと企業の協働である。NPO・企業ともに得意分野を活かしながら、それぞれの組織が持つ課題を協働により解決し新しい活力を生み出すために、相互のマッチングを実施する。

### <NPOと企業とのマッチング事業の令和元年度の基本的な考え方>

NPOと企業との協働マッチングについて過去2年の事業実績や今年度実施した事前アンケート調査及び企業訪問等から、企業はCSRとしての社会貢献活動を積極的に実施したいと考えており、その選択肢の一つとしてNPOと協働することも可能であると考えていることがわかった。

しかし企業側にはNPOについての知識や情報が少なく、相対するNPOが信頼できる相手なのかどうか判断できず少なからず不安を感じている。また、NPOは日々の活動において資金不足や人材不足等の問題を抱え、自団体単独ではなかなかその活動を充実・発展させられない状況にある。

そのようなNPOにとっては、多様な主体（企業等）との協働によって活動を推進させることが必要となるが、賛同や協力・理解を得るために自分たちの活動を相手にわかりやすく伝えるのが非常に苦手であり、協働の意思はあるが、なかなか積極的に企業等へアプローチできない場合が多い。

以上のような状況でNPOと企業との協働マッチングを進めるには、いきなり大きなプロジェクトの話をするのではなく、企業へのアプローチ力を補いつつ、まずお互いをよく知るためのきっかけづくりとなる小さなプロジェクトから始めて少しずつ信頼関係を築いていくことが重要だと判断した。

したがって今年度も①アプローチ講座 ②プレゼン講座 ③マッチング会を通して、企業のNPOに対する不安の払拭と、NPOの企業へのアプローチ力とプレゼン力の強化を目標に、しっかりと両者を繋ぐパイプ役を務めながら小さなプロジェクトを少しでも多く実現して、お互いの信頼関係を築いていけるようこのマッチング事業を進めた。また、今年度も引き続き①アプローチ講座 ②プレゼン講座にスケジュールの関係上参加できないNPOにおいても追加伴走支援という形で可能な限り事務局でフォローできる体制を取った。

## 2 実施スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- 【1】 事前アンケート調査の実施
- 【2】 NPOのアプローチ講座
- 【3】 NPOのプレゼン講座
- 【4】 NPOと企業とのマッチング会
- 【5】 事後アンケート調査の実施
- 【6】 マッチング会後のアフターフォロー

の6つあり、その実施スケジュールは以下の通りである。

### 【1】 事前アンケート調査の実施

- 7月1日(月)～7月31日(水) 福島県内NPO法人(871団体)へのアンケート調査実施
- 8月7日(水)～9月6日(金) 福島県内企業(1244社)へのアンケート調査実施

### 【2】 NPOのアプローチ講座

- 8月19日(月) いわき産業創造館(会議室1) 13:30～16:30
- 8月22日(木) 会津アピオスペース(2階会議室) 13:30～16:30
- 8月23日(金) 郡山ミュージカルがくと館(小ホール) 13:30～16:30

### 【3】 NPOのプレゼン講座

- 10月16日(水) 会津アピオスペース(2階会議室) 13:30～16:30
- 10月17日(木) 郡山ミュージカルがくと館(小ホール) 13:30～16:30
- 10月18日(金) いわき産業創造館(会議室1) 13:30～16:30

### 【4】 NPOと企業とのマッチング会

- 11月12日(火) いわき産業創造館(セミナー室A+B) 13:30～16:30
- 11月13日(水) 福島市市民活動サポートセンター(会議室A-1+2) 13:30～16:30
- 11月14日(木) 会津アピオスペース(2階会議室) 13:30～16:30
- 11月19日(火) 郡山ミュージカルがくと館(小ホール) 13:30～16:30

### 【5】 事後アンケート調査の実施

- 1月22日(水)～2月10日(月) マッチング会参加NPO16団体、企業14社

### 【6】 マッチング会後のアフターフォロー

- 11月20日(水)～3月27日(金) ふくしま地域活動団体サポートセンターによるマッチングに関するアフターフォロー

### 3 事前アンケート調査について

マッチング事業を始めるにあたり、福島県内のNPO(871団体)と企業(1244社)の双方に向けて、それぞれの協働について興味があるか等を問うための事前アンケートを実施した。その中で「協働に興味がある」と回答したNPOおよび企業に対して、次のアプローチ(NPO事前講座への参加、企業訪問)をかけることとした。

〈実施日〉

令和元年7月1日(月)～7月31日(水) 福島県内NPO法人(871団体)へのアンケート調査

令和元年8月7日(水)～9月6日(金) 福島県内企業(1244社)へのアンケート調査

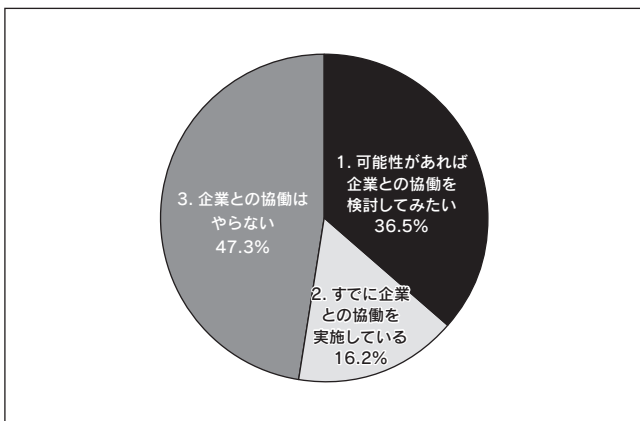
#### 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート 集計(NPO)

◆配布 福島県内のNPO法人 871団体(令和元年7月実施)

◆アンケート回答数 74(回収率8.5%)

1. 貴団体の活動を実施する上で、企業との協働について何か考えていますか。

|                          | 回答数 | %     |
|--------------------------|-----|-------|
| 1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい | 27  | 36.5  |
| 2. すでに企業との協働を実施している      | 12  | 16.2  |
| 3. 企業との協働はやらない           | 35  | 47.3  |
| 計(無回答を除く)                | 74  | 100.0 |



〈理由〉(自由記述)

#### 【1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい】

- フードバンク活動をしているので食品会社や企業の災害備蓄食品を賞味期限が切れる前に頂きたい。
- 地域課題の解決には企業手法や支援が必要不可欠と考えられる。
- 年間主催のイベントの協力程度はしているが協働というほどではない。
- 施設外就労。
- 労働関係の相談が多いので労働問題や外国人技能実習生関連団体との接点が欲しい。
- 映画を通して街づくりの共有ができる支援企業と協働したいと思った。

- 出前講座、UD探検隊。
- 植林・花栽培の業者と協働できたらと考えている。
- 子ども食堂や就労体験等で連携したい。
- 当法人ではGHと9月開所予定の生活介護の運営だがそのどちらかで協働できることがあれば。
- 現時点では具体的事案はない。(今後の活動として協働の取り組みの可能性はあると考えられる。)
- 総合型地域スポーツクラブとして活動している。体育施設等の指定管理業務、他健康維持活動業務。
- 協働を希望する企業にはどのように呼びかけるのか教えてほしい。
- 新しい仕事を検討してなく内職の仕事が主流なので協働は難しいと思った。
- NPO法人にして1年、今後どのように進めていくか悩んでいる。いろいろとチャレンジしていきたいと考えている。
- 以前から協議でやれることを考えていたし勉強会にも参加したことがある。企業ではないが既に他のNPOや施設との連携で事業の取組もやっている。(スタッフのサポート、場所の提供、物資の提供等)
- 遺族のグリーフケア又は目線予防に理解のある企業があればコラボ事業を行いたい。

## **【2. すでに企業との協働を実施している】**

- 旅館組合、温泉組合の業務含め事務委託を受けている。
- ①温泉旅館と協働したトレイル開発②企業と大学との産学民(NPO)連携。
- 内職委託や清掃委託をしているが他にも委託事業をしたいと思っている。
- 職場体験、見学、HPやリーフレットの作成。(これから)
- リサイクル資源についてグループ内連携を図っている。管内家具店と分別作業の連携を図っている。
- パン作り体験として工場場の提供と指導を受けて障がい児が楽しいパン作りを行った。
- 事業の特性から地元企業との協働は必須。
- 各事業所と連携し事業目標の達成は必須。
- 地域企業、飯館電力と東京中心の一部上場企業と協働している。
- 企業からあんぼ柿の箱折り、マスキング、フルーツキャップ折りの仕事をいただいている。

## **【3. 企業との協働はやらない】**

- 不明なためイメージがつかめない。
- 人員不足。
- 設立して間もないため、まず法人単体として事業を安定して運営することを優先したいと思う。
- 現在のところ必要性を感じていない。
- マッチング事業の趣旨と本会の目的と合致しないのではないかな。
- 現段階で企業に提案できるストレングスが希薄なため。
- 手が回らない。
- 人員的に新規事業への取り組みが困難である。
- 会費と寄付金だけの同好会のような団体のため。
- 学童クラブなので出来ない。

- 心身の健康、健康法としてヨガ療法は今や世界中に広まって実習されているから、一般の体操とみなされているのか、繋げられない状態。
- 今現在でその余裕がない。
- 継続の目的とは一致しないと思うから。
- 当法人が運営する作業、ゆうゆうハウスの事業内容の中の農作業部門で個人事業主や法人(農業)等と農福連携事業を通じて連携しているので、当面は考えていない。
- 公的な委託事業を行っているため難しいと思う。
- 避難中のため活動休止中。
- 小規模保育事業の運営のみで特に協働は考えていない。
- 現在のところ考えていない。
- 保育園運営をしている団体の集合体なのでその他は無理。
- 現段階では考えていないが機会があれば考えたい。
- 障がい者支援施設のため他の企業との協働は難しいところがある。
- 現在の業務は原則として介護保険の枠内であり支援事業等は補助的に実施しているため。
- 人手不足のため無理。

## 2. 上記質問で「①協働を検討してみたい」とご回答いただいた方へ。

現在、企業との協働を考える上で課題・問題などございましたらお聞かせください。

- 食品を頂く場合、フードバンクとして困窮者に無料で配布するので食品・運送料も企業側持ちでお願いしたい。
- 地元会津坂下町での印象だが、企業に関する事は商工会がメイン、学校及び児童・生徒に関する事は教育委員会、高齢者福祉は社協、地域づくりは政策財務課といったように縦割り行政の弊害を感じている。これからをコーディネートする役をNPOが担っていないとは考えているのだが、役職員の経験・認識・スキル不足が否めない。
- 現状の業務で手一杯なので新しいことに対応する余力がない。南会津が拠点なので他地域まで出向いてと言うのもロスが多い。地域内で何かあれば対応したいと思う。
- 利用者、職員不足。特に施設外就労へ行ける利用者が少なく限られてしまう。
- 営利を追求することが目的ではないNPOと利益を追求することが目的の一つである企業が運営資金の面でどう協働できるのか。
- 当方の仕事内容と企業の仕事内容がマッチする相手を見つけた上で直接交渉を考えている。
- 法人で行っている活動は就労支援・パソコン技術指導、子どもの学習教室、原発避難者との地域交流会の開催などの活動になる。事業内容的に協働は難しい気もするが興味はある。
- なかなかマスコミに取り上げてもらえない中にいい映画があり、毎年入場無料での映画祭において発表できる環境を整備していきたいと思う。
- すでに学校と協働を行っているが会員が高齢化しているので事務やサポーターが不足している。
- 森林組合とか花販売業者とかは仕事関係で依頼をしたりする関係ではあるが協働となるとどこから入ればよいか見当がつかない。



- 企業様の求めるものにしっかりと応えていきたいと思う。
- 人員不足(慢性的)と資金不足が課題になると思う。
- 現時点ではないが現在、事業の一部で市内企業も含めた協議の場となる委員会を設置し意見交換や実施事業への協力を頂いている。
- 指定管理の委託業務の協力等。
- 企業への呼びかけ方、資金の集め方、資金の負担、収益の配分、営業の分担、会計のやり方等。
- 仕事に来る利用者数にムラがあり、いつ来ても仕事がある状態にするには内職の作業があっていると思う。
- 課題としては介護予防支援の会の名前の通り何をどのようにしていくのが良いのか、のかこ(脳と身体と心)の頭文字を大切に進めていくが、それを今は脳活カフェとしていわき市内に1か所、市外に1か所で実施している。それをもっと多くの方に早く広めるためにはどのようにすれば良いのか。
- マッチングの機会がない。
- まず出会う場がない。または一部に偏っていると思う。前提として企業が社会貢献に取り組もうという意識とどんな資源があるのか、何が提供できるのか等、企業自身が知らないと思うし考えてこなかったのではないかな。なのでNPOと企業をつなぐ中間の動きが必要。まずはどんな資源があるかを調べたりインタビューすることが大事だと思う。お互いの持っているものや強み、社会的な意味のニーズを明確にしていけば「それなら協力できる」という企業も出てくると思う。ただし福島の場合は原発事故もあって放射能など複雑な状況があるので、考え方の違いを認め合いながらやるのが大事ではないか。なんでも「復興」や「風評払拭」に結びつけることは注意したほうが良い。社会貢献に取り組む企業が増えることが地域の住民やNPOとのよりよい関係にもつながっていくと思う。
- グリーフケアに対する考え方や自死・自殺への理解というところの価値観が一致しないとうまくいかないかもしれないが、そこを一致させるプロセスも大切だと思っているので、そういう時間も共有できることが重要だと考えている。
- 自己資金、資源、人材がない中で事業機会が限られている。当法人は複数の会員から構成してあるため、基本的には会員と共同で事業を行うことになるが、どの商品をどのようにアプローチしていけばいいのかわからない。
- 申し出があれば協働したい。
- 企業の参加方法として会員または寄付者が中心。

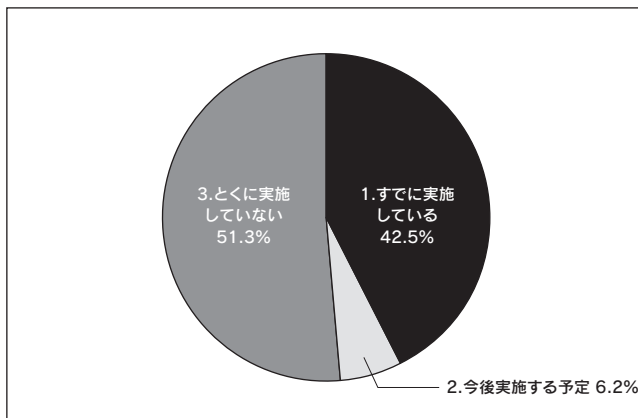
## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート 集計(企業)

◆配布 福島県内に事業所のある企業 1244社(令和元年8月実施)

◆アンケート回答数 113(回収率9.1%)

1.御社では、CSRとして社会貢献活動を実施していますか。

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. すでに実施している  | 48  | 42.5  |
| 2. 今後実施する予定   | 7   | 6.2   |
| 3. とくに実施していない | 58  | 51.3  |
| 回答者数 (無回答を除く) | 113 | 100.0 |



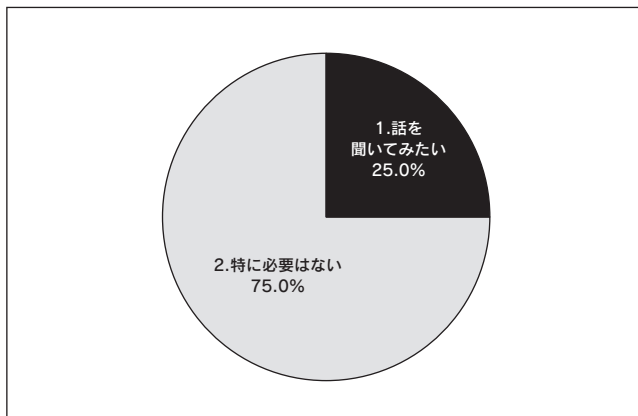
### 自由記述

#### 【1. すでに実施している】

- 献血や事業所周清掃活動は月1回程度行っている。イオングループの主催する植樹への参加を予定。
- 定期的にはではないが過去に支援。
- 桜の聖母短期大学「親と子の広場」「生涯学習センター」「ふくしま市産官学連携プラットフォーム」。
- 当社の中核事業はスポーツを通じた地域振興を理念としたスポーツ施設運営。事業そのものにCSR的事業が含まれているものとする。
- 地域清掃活動。
- CSRとしてではなく部活として、NPOキッズケアとNPOライフエイドの活動のボランティアに月1～2回参加している。
- 各種セミナー開催、外部専門機関への取次等。
- 猪苗代ゲレンデ逆走マラソン等。
- 自社前の国道4号、13号にてボランティアサポートプログラム実施。
- 美化活動として年2回周辺の道路や公園のゴミ拾いを行っている。

2.機会があれば協働についてNPOの話聞いてみたいですか。

|             | 回答数 | %     |
|-------------|-----|-------|
| 1. 話を聞いてみたい | 28  | 25.0  |
| 2. 特に必要はない  | 84  | 75.0  |
| 計 (無回答を除く)  | 112 | 100.0 |



## 4 NPO 事前講座について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」と回答したNPOに対して、協働事業の実現のための「NPOと企業とのマッチング会」へ向けてNPO側の事前準備として、【1】NPOアプローチ講座【2】NPOプレゼン講座 を実施してNPOの「わかりやすい資料作成力」と「相手に確実に効果的に伝えるプレゼン力」を高めることを目的とした。

### 【1】NPOのアプローチ講座

企業との協働を見据え、自分たちのことを的確に相手に伝えるために、自団体の活動紹介や企業と協働したい内容などを、A4一枚で簡潔にわかりやすくまとめるための講座。

○講師：遠藤智栄 氏（地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

いわき会場 ■ 令和元年8月19日（月）いわき産業創造館（会議室1） 13:30～16:30

会津会場 ■ 令和元年8月22日（木）会津アピオスペース（2階会議室） 13:30～16:30

郡山会場 ■ 令和元年8月23日（金）郡山ミュージカルがくと館（小ホール） 13:30～16:30



協働事業に関する基本的なことを座学で学ぶ参加者（いわき会場）



自団体の紹介や企業とどんなことで協働したいかをA4一枚に簡潔にまとめるワークショップで各自作業をする参加者（郡山会場）

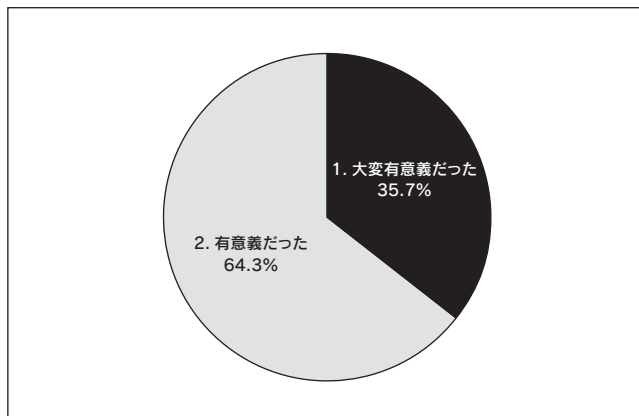
## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業「アプローチ講座」アンケート集計

◆受講者数 12団体15名(令和元年8月実施)

◆アンケート回答者数 14名(回収率 93.3%)

1.今日の講座を受講した感想はいかがですか?

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 5   | 35.7  |
| 2. 有意義だった    | 9   | 64.3  |
| 3. ふつう       | 0   | 0.0   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計 (無回答を除く)   | 14  | 100.0 |



### 【1.大変有意義だった】

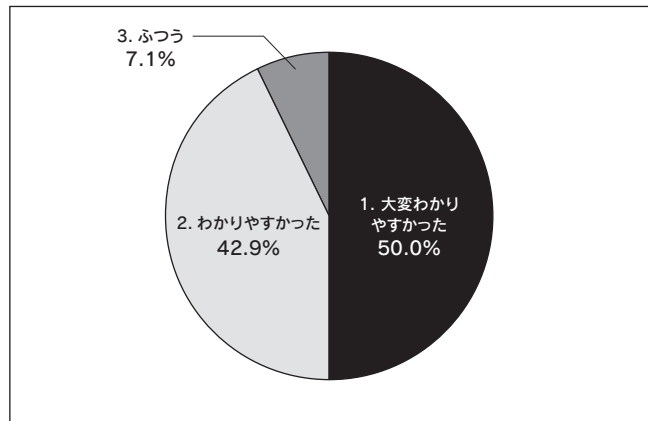
- 何度こういう講義を受講しても、それでいいということではなく、その時々で状況がかわっているの、今をふりかえるいい機会になった。ワークショップ形式だったので自分で書いたり発表することで身についた気がする。
- 講師やスタッフの方々と出会えたこと。「協働」の意味が大まかにつかめたこと。本講座の“目的(意図)”が把握できたこと。
- 初心者なので少しずつ一步一步築いていきたいと思う。

### 【2.有意義だった】

- 初めてのことなので解ったようでわからない。
- 勉強になった。
- まだ少しわからないところがある。皆さん慣れている様だが、もう少しわかり易くていねいに説明をして頂ければと思った。
- 自分の事業内容を振りかえられて良かった。
- 「企業とのマッチング」のタイトルの中で想像でしか思いうかばず、今日配布したように実際の企業(確実になくてもよい)の提示があると具体的に想像出来ると思った。
- 大変勉強になった。
- 協働までのステップの重要性を理解できたから。これまで焦って「資金やモノ」の援助を求めがちだったが、まずはお互いに信頼関係や活動内容の理解に力を入れていくことが必要だと思った。
- 企業との協働において必要な視点を学べた。一方自分の課題認識や企業と協働したい内容が抽象的だと感じる気づきがあった。
- 講師からプレゼンなどに対する具体的なアドバイスがあればもっと有益だった。

2. 講義内容やテキストはわかりやすかったですか？

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. 大変わかりやすかった | 7   | 50.0  |
| 2. わかりやすかった   | 6   | 42.9  |
| 3. ふつう        | 1   | 7.1   |
| 4. やや難しかった    | 0   | 0.0   |
| 5. 難しかった      | 0   | 0.0   |
| 計 (無回答を除く)    | 14  | 100.0 |



【1. 大変わかりやすかった】

- スタッフで共有したいと思った。
- 講義と実習が交互に組み入れてあり、長時間でも全く苦にならず、むしろ楽しかった。資料の内容も平易で分かりやすかった。
- 良かった点: ワークが多く、自分のこれまでの取り組みを整理する時間がある。また他団体のやり方やノウハウも勉強になった。  
悪かった点: 途中退出したこともあり、交流する時間が少なかったため、他団体の悩みや事例ももっと聞いてみたかった。

【2. わかりやすかった】

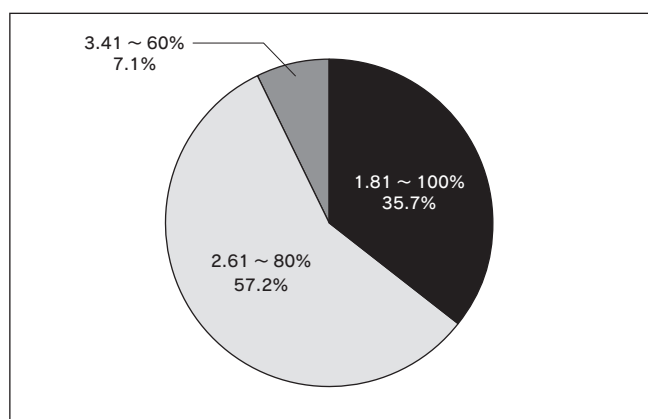
- 系統的に学べた。
- ワークが多く、考え、まとめることへのトライができて良かった。今後への取組み意欲も持てた。少々進行のテンポが早く、内容も盛り沢山でついていくのがやっという感もある。

【3. ふつう】

- 板書の字が小さく、ホワイトボード用のペンも薄くて字が読みづらい。私は高齢者ですので、プレゼン用のスクリーンも明るくて見づらく、照明を前だけでも消してほしい。講師の先生のお話も聞きづらい。少人数でもマイクを使用した方が良いと思う。

3. 本講座の理解度は何%くらいですか？

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 81 ~ 100% | 5   | 35.7  |
| 2. 61 ~ 80%  | 8   | 57.2  |
| 3. 41 ~ 60%  | 1   | 7.1   |
| 4. 21 ~ 40%  | 0   | 0.0   |
| 5. 0 ~ 20%   | 0   | 0.0   |
| 計 (無回答を除く)   | 14  | 100.0 |



### 【1. 81～100%】

- 分かりやすかったと思う。
- LP、リネン、ペットフード、食品資材などの事業者(社)の賛同を希望する。
- 頭では理解したが、まだ実践では動けていないため具体的なアクションをしていった時にどうなるか、どうするかを踏まえて90%にした。
- 完べきにはもう少し時間がかかる。

### 【2. 61～80%】

- プレゼンの仕方等もう少しわかり易く説明して頂ければ有難い。
- わかった、と思っても実はわかってないんじゃないかなという自戒を込めて。
- 残り2回を受講してからの判断になりますが、自分自身にとって大きな学びの機会になる予感。
- プレゼンの内容や、まとめ方のポイントは理解できたと感じた。

### 【3. 41～60%】

- 新しい専門用語が理解しにくい感がある。

4. その他、何かありましたら記入をお願いいたします。

- 外部への伝達方法がもっと解ってから参加した方がよい。
- やはり企業のメリットをいかに出していくかが大事。
- 企業とのマッチングだけではなく、助成金の申請の仕方や書類の作成の仕方等も教えていただきたい。
- 新たなつながりができることを期待する。
- 他法人の方の話も聞くことができて良かった。
- 企業側のニーズも知りたい。
- 会津の良き企業と出会えることを切に望む。
- 他の参加者も話していたが、企業との合同での勉強会やカジュアルな場での交流会(異業種交流会のような)など、多様な形の入口があったほうがNPO側も企業側も参加の敷居が低くなり、より協働が生まれやすくなるのではと思った。まずは1対1の関係づくりからで、ゆくゆくは「複数団体と複数企業が1つの事業に協働していく」といったお互いの強みを生かして、地域を多面的に巻きこんだ取り組みにつながっていったらと思う。
- 企業へのアプローチの仕方(名刺交換後について)も、もっと話を聞きたかった。

## 【2】NPOのプレゼン講座

企業との協働のためのマッチング(お見合い)の際に、【1】NPOアプローチ講座で作成した資料を基に企業に対して自団体を効果的にアピールするためのプレゼン法を学び、マッチング本番に向けて練習(リハーサル)する講座。

○講師:遠藤智栄氏(地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー)

会津会場■令和元年10月16日(水)会津アピオスペース(2階会議室) 13:30~16:30

郡山会場■令和元年10月17日(木)郡山ミュージカルがくと館(小ホール) 13:30~16:30

いわき会場■令和元年10月18日(金)いわき産業創造館(会議室1) 13:30~16:30



前回のアプローチ講座後に作成したプレゼン資料を使って  
参加NPOの前でプレゼンを練習する参加者(郡山会場)



プレゼン練習後に各参加NPOから改善点などのコメントをもらう参加者(会津会場)

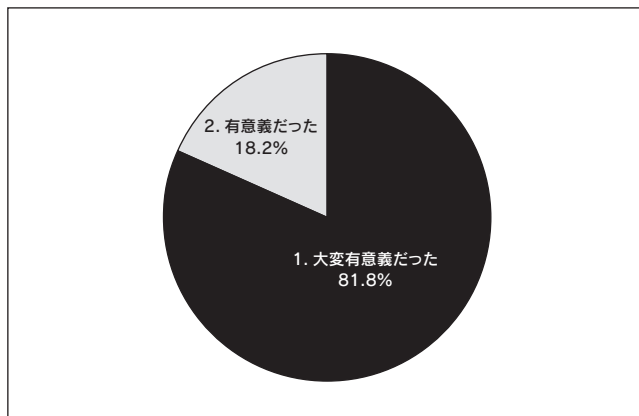
## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業「プレゼン講座」アンケート集計

◆受講者数 9団体11名(令和元年10月実施)

◆アンケート回答者数 11名(回収率100.0%)

### 1.今日の講座を受講した感想はいかがですか?

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 9   | 81.8  |
| 2. 有意義だった    | 2   | 18.2  |
| 3. ふつう       | 0   | 0.0   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計(無回答を除く)    | 11  | 100.0 |



#### 【1.大変有意義だった】

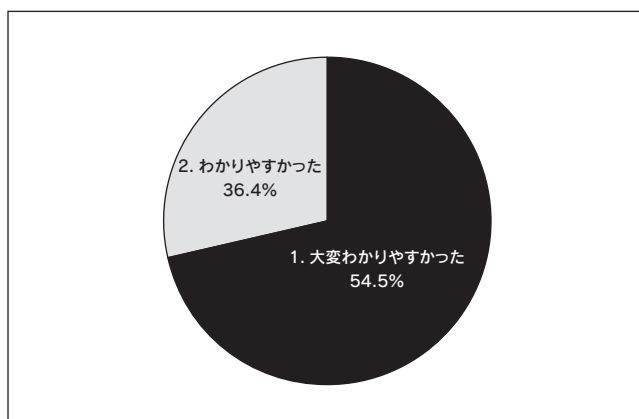
- 大変勉強になった。
- 今回は実際にプレゼンする事はなかったが、どのような点に注意をしてプレゼンしたら良いかという事がよく分かった。
- 自分では気づかないところを指摘していただいたのでありがたかった。
- 勉強になった。
- 第三者の視点でフィードバックをいただけて良かった。自己評価だけだと気付くことができない視点がいただけた。
- 他参加者や講師、スタッフの意見や助言を頂くことができてよかった。フィードバックシートの項目が、様々な角度からのものとなっていて、マッチング会に向けてよい準備の機会となった。

#### 【2.有意義だった】

- 現時点での自身のプレゼン技能を他視点で評価して頂いたこと。
- プレゼンの練習ができた。

### 2.講義内容やテキストはわかりやすかったですか?

|               | 回答数 | %     |
|---------------|-----|-------|
| 1. 大変わかりやすかった | 6   | 54.5  |
| 2. わかりやすかった   | 4   | 36.4  |
| 3. ふつう        | 1   | 9.1   |
| 4. やや難しかった    | 0   | 0.0   |
| 5. 難しかった      | 0   | 0.0   |
| 計(無回答を除く)     | 11  | 100.0 |





### 【1.大変わかりやすかった】

- 自分の改善点が把握できて良かった。
- 初めての経験で助かった。
- 前回の復習もあり「プレゼン」や「協働」にあたって何が大切か意識して取り組むことができた。
- プレゼン練習が2回あって良かった。他団体の内容を見てアピールの仕方や視覚的にどう訴えると伝わるか、補足説明の大切さなど学ぶことができた。

### 【2.わかりやすかった】

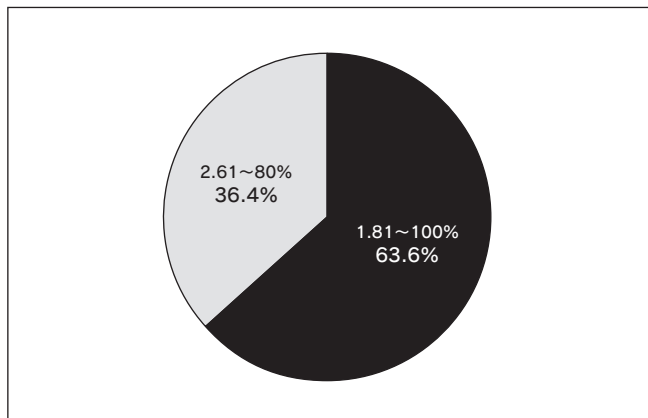
- 復習もあって良かった。1回目に注意してもらったことを活かしたところ、活かせなかったところもあったが「大変」とはいかなかった。

### 【3.ふつう】

- プレゼン技能に関しては発言できるものの各プレゼン内容に関しては言及しにくい。

### 3.本講座の理解度はどのくらいですか？

|            | 回答数 | %     |
|------------|-----|-------|
| 1. 81～100% | 7   | 63.6  |
| 2. 61～80%  | 4   | 36.4  |
| 3. 41～60%  | 0   | 0.0   |
| 4. 21～40%  | 0   | 0.0   |
| 5. 0～20%   | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）  | 11  | 100.0 |



#### 【1. 81～100%】

- わかったつもりでできないことがある。
- 理解はした。後はやるかやらないかだと思う。
- とても有意義だった。このような講座を企画して頂き感謝したい。
- 理解できた。

#### 【2. 61～80%】

- (2回目で)プレゼン内容、技法の改善のポイントが明確になったこと。
- 自分の改善点がもっと多くあると感じた。
- とても分かりやすかった。
- 実際にはプレゼンの機会がなかったが、他の方のプレゼンを聞いたりそれに対する意見等勉強になった。

4.その他、何かありましたら記入をお願いいたします。

- 小さなことから一緒にやりたい。そして社会を変えていく一歩になればと思う。
- 映画の良さを広める応援をお願いしたい。
- 本日は参加団体が少なかったが、逆に深く、じっくり学ぶことができて良かった。
- マッチング会では、プレゼン後に企業との直接お話しできる機会があればと思っている。そのため積極的に企業様に向けてアピールできたらと思う。
- 参加企業が増えれば、プレゼンのターゲットがより鋭くなる(明確に絞れる)。
- 一燈照隅、万燈照国。

福島県主催 令和元年度 **SAPOSEN**  
ふくしま地域活動団体サポートセンター

企業との協働にチャレンジしませんか？

# NPOと企業等のマッチング事業

## 参加NPO募集！

今年で3年目となる福島県主催「NPOと企業等のマッチング事業」。NPOだけでは解決できない社会的課題を企業と協働し、お互いの強みを活かすことで課題解決への可能性が生まれる場合もあります。当事業ではNPOが企業と協働するために必要な①「企業へのアプローチ(提案書作成)力」と②「企業へのプレゼン(発信)力」をNPO事前講座で学び、その後実際に県内企業の前でプレゼンを行う③「マッチング会(お見合い会)」に臨むという企業との協働事業へのステップを3段階に設定して実施します。企業だけでなく多様な主体との協働・連携を進めるためのノウハウを当事業で学んでください。

**参加無料**

企業に伝わる提案資料の作り方を学ぶ

**① NPO アプローチ講座**  
8/19(月) いわき産業創造館 会議室1  
8/22(木) 会津アピオスペース 2F会議室  
8/23(金) 郡山ミュージカルがくと館 小ホール

企業へのプレゼンのノウハウを学ぶ

**② NPO プレゼン講座**  
10/16(水) 会津アピオスペース 2F会議室  
10/17(木) 郡山ミュージカルがくと館 小ホール  
10/18(金) いわき産業創造館 会議室1

実際に企業を前にしてプレゼンを行う

**③ NPOと企業とのマッチング会**  
11/12(火) いわき産業創造館 セミナー室 A+B  
11/13(水) 福島市民活動サポートセンター 会議室  
11/14(木) 会津アピオスペース 2F会議室  
11/19(火) 郡山ミュージカルがくと館 小ホール

原則的に①②③のすべてに参加いただきます(会場を選択してください)。③については4会場全部にも参加可。ただし平成29年度・30年度当事業参加者は③のみの参加でも可。  
参加を希望するNPOは裏面の申込書でお申し込みください。

締切：令和元年8月5日(月)

主催/福島県 令和元年度 NPO強化による復興創生事業「NPO、企業、学生等との連携・協力事業」  
事務局/ふくしま地域活動団体サポートセンター (担当：後藤一光)  
〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階  
TEL. 024-521-8206 FAX. 024-523-2741  
E-mail. f-matching@f-saposen.jp URL. https://fnpo-matching.f-saposen.jp/  
運営委託/福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課  
運営受託/認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

送付先 メール [f-matching@f-saposen.jp](mailto:f-matching@f-saposen.jp) FAX 024-523-2741

令和元年度「NPOと企業等のマッチング事業」

## 参加申込書

※参加無料です。

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 団体名                       |   |
| 参加者名                      | ※できれば1団体2名以上の参加が望ましいです。   |
| 電話                        |   |
| メール                       |   |
| 参加会場                      | <b>① NPO アプローチ講座</b> (3会場あり)<br>8/19(月) いわき / 8/22(木) 会津 / 8/23(金) 郡山                     |
| 参加会場                      | <b>② NPO プレゼン講座</b> (3会場あり)<br>10/16(水) 会津 / 10/17(木) 郡山 / 10/18(金) いわき                   |
| 参加会場                      | <b>③ NPOと企業とのマッチング会</b> (4会場あり)<br>11/12(火) いわき / 11/13(水) 福島 / 11/14(木) 会津 / 11/19(火) 郡山 |
| 企業と協働したい内容を簡潔明確に記載してください。 | ※100字程度   |

原則的に①～③全てに参加していただきます。それぞれ参加する会場を選んでください。

③「マッチング会」には地元企業も参加します。各会場とも参加企業が異なりますのでNPOの枠は複数会場に参加することも可能です。

**申込締切：8月5日(月)午後5時まで**

この申込書はマッチング WEB <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>からもダウンロードできます。  
<問合せ先> ふくしま地域活動団体サポートセンター TEL 024-521-8206 (担当後藤一光)

チラシの主な配布先・・・

- 事前アンケートで企業との協働に興味があると回答したNPO 27団体
  - その他福島県内のNPO法人 871団体
  - 福島県内の中間支援組織 11団体
- 合計 909団体

## 5 NPO と企業とのマッチング会について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」「協働に興味はあるが企業との実施に不安がある」と回答したNPOと、「社会貢献活動の一環としてNPOとの協働に興味がある」と回答した福島県内の企業に対して、NPOから企業へ協働事業に向けての提案をプレゼンテーションする機会を設け、福島県内4地域で「NPOと企業とのマッチング会」として実施した。

各会場ごとに地元で「NPOとの協働」について興味がある企業に参加いただき、NPOが【1】NPOアプローチ講座【2】NPOプレゼン講座で作成・修得した自団体の協働に関する企画提案を参加企業に向けてプレゼンテーションする。その後、NPOと企業とで直接話ができる時間も設けた。

○総括：遠藤智栄 氏（地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

|        |  |             |
|--------|--|-------------|
| いわき会場■ | 令和元年11月12日(火)いわき産業創造館(セミナー室A+B)        | 13:30~16:30 |
|        | 参加NPO 4団体6名、参加企業 4社4名                  |             |
| 福島会場■  | 令和元年11月13日(水)福島市市民活動サポートセンター(会議室A-1+2) | 13:30~16:30 |
|        | 参加NPO 5団体7名、参加企業 4社6名                  |             |
| 会津会場■  | 令和元年11月14日(木)会津アピオスペース(2階会議室)          | 13:30~16:30 |
|        | 参加NPO 4団体5名、参加企業 3社3名                  |             |
| 郡山会場■  | 令和元年11月19日(火)郡山ミュージカルがくと館(小ホール)        | 13:30~16:30 |
|        | 参加NPO 8団体12名、参加企業 4社5名                 |             |



参加NPOからのプレゼンの前にNPOとの協働について講義を受ける参加企業(郡山会場)



参加企業に向けて協働に関するプレゼンをする参加NPO(いわき会場)



各参加NPOから参加企業へのプレゼン終了後にNPOと企業が1対1で協働に関して面談をする様子(福島会場)

福島県主催 令和元年度 **SAPOSEN**  
ふくしま地域活動団体サポートセンター

**企業の皆様!! NPOとの協働を考えてみませんか?**

**NPOと企業等のマッチング事業**  
**参加企業募集!**

企業でのCSRの一環として実施する社会貢献活動のひとつの方法として、地域に密着し様々な社会的課題を解決するために日々活動しているNPOとのコラボレーション(協働)を考えてみませんか?  
 この度、NPOがどんな想いで活動し企業の皆様と今どんなことでコラボレーションしたいのか、話をする機会を設けました。ぜひご参加いただきNPOからの提案をお聞きください。可能性があるかどうかの話はそれからです。情報収集など、このマッチング会をNPOとの出会いの場として大いに活用ください。

**参加無料**

**1 11月12日(火)**  
いわき産業創造館

**2 11月13日(水)**  
福島市市民活動サポートセンター

**3 11月14日(木)**  
会津アビオスペース

**4 11月19日(火)**  
郡山ミュージカルがくと館

時間はすべて13:30~16:30

昨年度・一昨年度の事業報告書は、<https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>にてご覧いただけます。

主催/福島県 令和元年度 NPO強化による復興創生事業「NPO、企業、学生等との連携・協力事業」  
 事務局/ふくしま地域活動団体サポートセンター (担当:後藤一光)  
 〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階  
 TEL. **024-521-8206** FAX. **024-523-2741**  
 E-mail. [fmatching@f-saposen.jp](mailto:fmatching@f-saposen.jp) URL. <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>  
 運営委託/福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課  
 運営受託/認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

福島県主催 令和元年度 NPOと企業等のマッチング事業

**11月 NPOと企業とのマッチング会 申込書**

**申込方法**

下記事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込み下さい。  
 受付終了後に受付書をFAXまたはメールでお返しいたします。  
 申込のフォーマット(Wordファイル)を次のURLからダウンロードもできます。<https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

送付先 FAX **024-523-2741**  
 メール [f-matching@f-saposen.jp](mailto:f-matching@f-saposen.jp)

|           |     |
|-----------|-----|
| 企業名       |     |
| 所在地       |     |
| 参加者名      |     |
| 役職        |     |
| TEL       | FAX |
| メールアドレス   | @   |
| ウェブサイトURL |     |

参加会場(会場に○をつけてください。複数会場への参加も可)

|                   |                  |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 11/12(火)<br>いわき会場 | 11/13(水)<br>福島会場 | 11/14(木)<br>会津会場 | 11/19(火)<br>郡山会場 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|

参加の動機をお聞かせください。

NPOと協働したいこと、NPOに求めたいことなどあればお書きください。

**申込締切/令和元年 11月1日(金)**

事務局 ふくしま地域活動団体サポートセンター  
 〒960-8043  
 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階  
 TEL 024-521-8206 FAX 024-523-2741 (担当:後藤)

チラシの主な配布先・・・

- 事前アンケートで「NPOとの協働に興味がある」と回答した県内企業へ 28社
  - 昨年と一昨年のマッチング会参加企業へ 32社
  - 第4回福島県NPOのつどい(令和元年7月23日実施)の参加企業へ 9社
  - 福島(4200社)・郡山(5400社)・いわき(4000社)・  
 会津若松(2700社)の商工会議所会員へ 16,300社
- 合計 16,369社

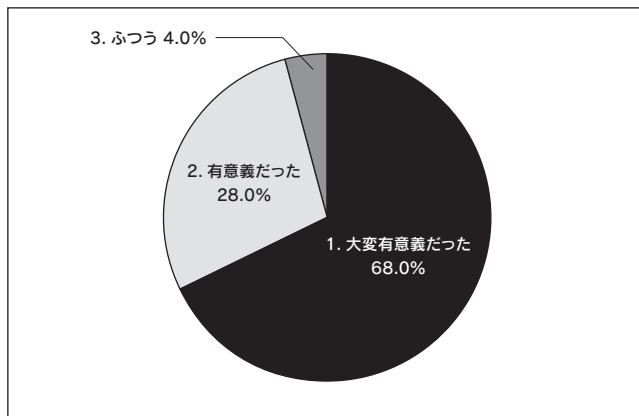
## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業「協働マッチング会」アンケート集計(NPO)

◆参加団体 21団体30名(令和元年11月実施)

◆アンケート回答者数 26名(回収率86.6%)

1.今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

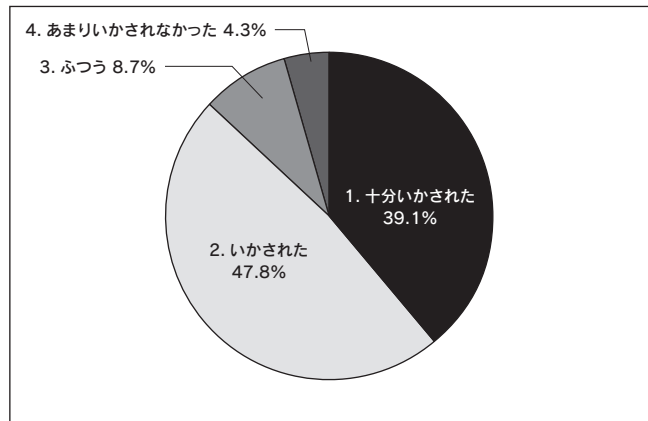
|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 17  | 68.0  |
| 2. 有意義だった    | 7   | 28.0  |
| 3. ふつう       | 1   | 4.0   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計 (無回答を除く)   | 25  | 100.0 |



- ほぼ全社の方に好印象を頂き、展示・ワークショップを開催することができそう。
- 協働の意味を共有でき、企業ともゆっくりじっくり話げできた。
- 企業の方に知っていただけたのは良かった。
- 企業とのきっかけが出来た。今後の期待がもてた。
- 企業のニーズを知れたこと、企業から活動へのフィードバックを得られたこと。
- 1対1で話せたのが良かった。それぞれ企業の方のニーズ・状況について少しでも知ることができた。
- プレゼンを経験させて頂いた。企業が興味をもって話を聞いて下さった。企業へ提供するメニューについてのアドバイスも頂けた。
- 次につなげるためのヒントが多く得られた。
- いろんな企業+人と知り合いになることができた。
- 普段話せない人と話げできて良かった。
- じっくり企業のニーズが聞けた。
- 最もフォーカスしていた企業が参加されていなかったこと。企業の欠席が目立ったことが残念。
- 企業として何を求めているのかがわからない。
- 参加企業が多い。
- 少々時間が足りなかった。(参加NPOが多かったので)
- 企業の内容をもっと知ってお会いしたかった。
- たくさんの企業とお話げできたため。
- 多様な情報をいただいた。
- 多くの団体と意見交換ができて、今後の活動へ参考になると思う。
- 企業(全社)が興味を持って下さり、具体的に私たちのニーズに合った提案をいただいたため。
- 他参加団体の理解ができた。企業様との接点を持てた。
- いつもだとお会い出来ない企業さんたちとお話げできてとても良かった。まずは知ってもらう事なので。

## 2.アプローチ講座やプレゼン講座で学んだことは今回のマッチング会でいかされましたか？

|                 | 回答数 | %     |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 十分いかされた      | 9   | 39.1  |
| 2. いかされた        | 11  | 47.8  |
| 3. ふつう          | 2   | 8.7   |
| 4. あまりいかされなかった  | 1   | 4.3   |
| 5. いかすことができなかった | 0   | 0.0   |
| 計（無回答を除く）       | 23  | 100.0 |



- プレゼンの内容を変える事。(自分の時間が必要)
- 準備不足でした。(当方まで足をお運び頂き何度も丁寧にスタッフにアドバイスいただいたのに) すみません。
- 事前講座に出られなかったのが残念。
- 言いたいことを時間内に伝えることができた。
- 第2回目の講座を欠席してしまったので十分とは言えない。
- 講座には残念ながら参加できなかったが、プレゼン資料にスタッフからたくさんのアドバイスを頂き、時間配分などもとても勉強になった。ちゃんとできたか全く自信はないがお陰で頑張ることができた。
- 他団体の情報も有意義でした。
- 寄付チラシを持参するのを忘れた。なので"十分"とはいかなかった。
- 企業の意図がわかるように、伝える努力が出来た。
- 講師をはじめ、スタッフに話をよく聞いて頂き励まして頂いたことが一番良かったと思う。仲間(参加者)からも様々なアドバイス(プレゼンに関して)を頂いたことが大変にありがたかった。
- 参加できず申し訳ありません。
- 昨年、講座受講したので「NPOと企業とのマッチング会」のみ参加したが、今回2回目の参加なので企業の皆さんと有意義な話のポイントを思い出して出来ました。
- 今後につながると思う。
- 時間が短いのでもう少し長くしていただきたい。
- すみません。講座は欠席でした。
- 私供のNPOの考えがまとめられ対外的にアピールしやすくなりました。
- プレゼン講座での意見でプレゼンテーション内容の変更を行い、それが結果的に良かった。
- 場数をもっと必要だと感じた。
- まずは協働のハードルを低く(興味を持つ、出会う、人間関係を深める)を意識できた。
- 相手に伝わるプレゼン、考え方について見識を深められた。
- 文章を短く、皆さんの顔を見てとのアドバイスや、参加者の方からのアドバイスも活かされたと思う。

### 3.引き続き話をしたい企業はありましたか？

| 興味のある企業               | 興味のある内容等   |
|-----------------------|--|
| 全参加企業                 | ・アポイント取ったので進めたい。   |
| いわき信用組合               | ・場の提供、広報、お客様への協力依頼、イベント、クラウドファンディング。<br>・外国人労働者確保の通訳の可能性有り。  |
| トヨタカローラいわき(株)         | ・広報、自販機設置、女性支援。<br>・寄付金付き自販機の設置を前向きに検討。<br>・ボランティア融通(派遣)が見込める。<br>・今年からCSR担当になられ、色々悩みもあるご様子。こういう企業の方は多いと思う。力になれる財団でありたい。 |
| (株)クレハ環境              | ・自販機設置、イベント。<br>・ご担当者が思いを持っている方。ぜひ引き続きお付き合いできるとうれしい。   |
| (株)日本金融公庫いわき支店        | ・相談会。<br>・資金需要に備える為に制度を学習する。   |
| (株)インフォメーション・ネットワーク福島 | ・協働について更に話したい。<br>・「ももリンク」を活用したい。告知のキャッチコピーなんかも教えて欲しい。   |
| (株)いちい                | ・WEB発信について話しできるかも。<br>・食の分野での連携の可能性があると感じた。<br>・店舗にチラシを置かせていただきたい。   |
| 玉鈴醤油(株)               | ・お仕事の提供や商品モニターの話ができそう。<br>・農をベースに取り組みできる。<br>・子どもたちと見学に行きたい。   |
| その他                   | ・本命の企業が欠席だったので残念だった。   |

### 4.その他、当事業に関して何かありましたらお書きください。

- 企業交流会(名刺交換会でもいい)があればいい。
- たくさん勉強させて頂いた。
- 他会場の企業への紹介もお願いしたい。
- なかなかお会いできない方々にご縁をつないでいただき感謝。
- 素晴らしい機会をいただいたことに感謝。
- ぜひ次年度も参加させて頂きたい。
- 今回参加のNPOの皆様と今後情報交換したいと思った。
- 引き続きこのようなマッチングの機会があるとありがたい。
- 他のNPOとも連携するチャンスを頂いた。



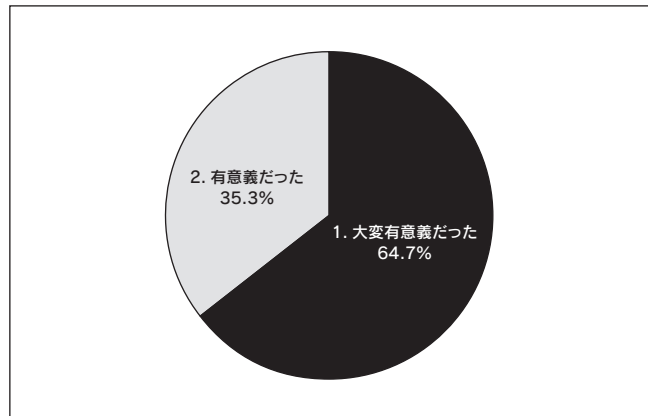
## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業「協働マッチング会」アンケート集計(企業)

◆参加企業 15企業/団体計 19名(令和元年11月実施)

◆アンケート回答者数 17名(回収率89.4%)

1.今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

|              | 回答数 | %     |
|--------------|-----|-------|
| 1. 大変有意義だった  | 11  | 64.7  |
| 2. 有意義だった    | 6   | 35.3  |
| 3. ふつう       | 0   | 0.0   |
| 4. あまり良くなかった | 0   | 0.0   |
| 5. 良くなかった    | 0   | 0.0   |
| 計(無回答を除く)    | 17  | 100.0 |



### 【1.大変有意義だった】

- 様々なNPOと接点を作ることができたため。
- 当社でできる活動の幅が広がった。自販機の導入など。
- 新たな出会いがあった。
- 現状皆さまの思いがものすごかった。
- 皆さまの一生懸命さに感動しました。
- 皆さまのプレゼンが参考になった。
- NPOの活動を知れた事。意外に協働できそうだなと感じたので、会社に持ち帰り検討。
- NPO団体との個別面談で、子どもにやさしい団体が多く、自分と重なり嬉しかったので。
- マッチングの可能性が高い団体が多かった。

### 【2.有意義だった】

- 普段NPOの方々と接する機会がなく、当社として初めての取組みだった。
- 様々な活動があることを知った。
- 内容を詳しく知らずに来たが、いろいろな活動があると知ることができた。
- 地域貢献、企業の社会貢献を考える時間になった。改めて可能性を検討できる選択肢になった。
- 昨年とは違うNPOの参加があり、大変勉強になった。
- 参加企業が少ないのは残念に思った。昨年と違うNPOとお会いすることができとても良かった。

2.興味のある団体はありましたか? (複数団体可)

| 興味のある団体          | 興味のある内容等  |
|------------------|---|
| 全団体              | 社員、各個人ごとに興味をもつモノが様々なので全てのNPOに興味がある。   |
| 青陽               | 切り文字の展示について実施可能性があるため。<br>障がいを持った若者と地域企業のマッチングの可能性を感じた。<br>当社でやっているイベントとのタイアップもできると思った。 |
| commune with 助産師 | 当社でやっているイベントとのタイアップもできると思った。  |
| ふくしま百年基金         | プレゼンの流れ～最後の“志金“のキーワードがすっきりと腑に落ちた。<br>活動が気になった。  |
| ベルフォンテ           | いろいろな女性の働き方について協働できそうな気がした。<br>商品開発やモニタリング等でコラボできそう。<br>情報発信での連携ができそう。                  |
| 青空保育たけの子         | 活動が気になった。<br>社内のイベントの開催場所として検討できる。  |
| 寺子屋方丈舎           | 会津地区だけでなく、福島県内で行っている子ども食堂なので、弊社のスタッフの家族も利用できると思った。                                      |
| fukucier         | 障がいを持った方が気軽に食事をできるのを目標としている為。   |
| ビーンズふくしま         | 実際に協働できそうなお話があった。   |
| 本宮の映画文化を継承する会    | 実際に協働できそうなお話があった。   |
| サポートクラブキャロット     | 活動が気になった。   |
| 相双歴史文化保存会        | 個人的に映画好き・歴史好きの為。  |
| その他              | 具体的には記載できないが当社は6店舗あるのでNPO法人の「存在」の広報は店の特色によってできるかと思った。                                   |

3.その他 何かありましたら記入をお願い致します。

- 今後も参加したい。
- 資金支援ができればいいと思ったが、薬品(調剤)業が中心なので、広告貢献が一番できる可能性が高いかなと思った。参加NPO法人の数が多かった(郡山会場)ので、自分の頭の中で整理することが大変だったかと思う。(時間的に)
- ご縁に感謝。
- スタッフの方の頑張りに感謝します。
- 参加する企業を増やしていただきたい。私達も微力ながら協力したい。

## 6 マッチング会における参加 NPO 等のプレゼン資料

本事業の流れとして

- ①「NPOアプローチ講座」(8月実施)にてプレゼン資料作成
- ②「NPOプレゼン講座」(10月実施)にて企業へのプレゼンのための手法の取得および練習・リハーサルを行う
- ③「NPOと企業とのマッチング会」(11月実施)にてNPOから企業へ向けて実際に協働に関するプレゼンを行うと進めたが、その際に作成・使用した参加NPOのプレゼン資料を以下に示す。

### <参加NPO等16団体>

- 01■特定非営利活動法人 共創のまちサポート
- 02■特定非営利活動法人 ビーンズふくしま
- 03■一般財団法人 ふくしま百年基金
- 04■NPO法人 本宮の映画文化を継承する会
- 05■NPO法人 青陽
- 06■NPO法人 相双歴史文化保存会
- 07■特定非営利活動法人 Commune with助産師
- 08■NPO法人 青空保育たけの子
- 09■特定非営利活動法人 Global Mission Japan
- 10■ベルフォンテ
- 11■特定非営利活動法人 つなぐ舎
- 12■NPO法人 サポートクラブ キャロット
- 13■一般社団法人 fukucier
- 14■特定非営利活動法人 小野自然倶楽部
- 15■特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎
- 16■ふくしまこども食堂ネットワーク

# 01 特定非営利活動法人 共創のまちサポート

## 特定非営利活動法人共創のまちサポート

理事長 増子 裕昭



共創のまちサポート1

### ● 設立のきっかけ

地域には解決すべき課題が多く存在しているのに、解決されないままである現状をなんとか改善しようと立上げる。

### ● 団体の目的

様々な地域課題の解決に向け民間の立場から積極的に事業を幅広く展開し住みよいまちづくりに貢献していくこと。



共創のまちサポート2

## まずはコミュニティ食堂の実施！

### ■ 地域の課題

1. コミュニティの希薄化
2. 独居高齢者の増加（孤食）
3. 朝食を摂らない子どもの増加
4. 貧困世帯の増加
5. 震災避難者との交流がない
6. 防災の必要性
7. 学力の低下

### ● 目指す姿

1. 地域交流の拠点（多世代交流）
2. バランスのとれた食事の提供
3. 子どもの体力づくり
4. 子どもや高齢者の居場所づくり
5. 震災避難者との交流
6. 防災教育
7. 学習支援



共創のまちサポート3

## 朝食とランチを提供します

1. 私たちは、毎週火曜日と水曜日に「朝食」を提供しています。  
場所：平第14区公民館／時間：6:30～8:30
2. 毎月の第3土曜日と第4土曜日に「ランチ」を提供しています。  
場所：平第14区公民館（第3土）好間公民館（第4土）  
時間：11:00～13:00
3. すべて、子ども50円（高校生100円）、大人300円です。



共創のまちサポート4

## 地域、住民、ボランティアなど参加者の反応や変化

1. 最初は経済的に苦しい人に向けた貧困対策と思われ、「周囲の目もあり、あんなところへ行ったら笑われる」と様子見の状態が続いた。
2. それでも継続的にやり続けていくうちに誤解もとけ、次第に人が集まってくるようになり、地域全体の理解も深まり協力的になった。
3. ボランティアも多くの申し出があり、野菜などの食材を提供していただくことも多くなった。



共創のまちサポート5

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

1. いわき市の補助が最長3年間で打ちられること。
2. 市内で更に複数の場所で食堂事業を展開したい。
3. フリースクール等の学習支援と併せて活動をしたい。

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

1. 食材など現物物資の提供
2. 接客や配膳、洗いの等を行う人材・ボランティアの派遣
3. 宿題や英語等の学習支援事業とのタイアップ
4. チラシ・パンフ等への広告協賛
5. 事業拡大へ向けた資金の提供等

共創のまちサポート6

## 企業の皆様に向けてメッセージ

子どもの健全育成や高齢者の居場所づくり、コミュニティの活性化等、地域課題は、私たちだけではなく企業及び従業員の皆様にとっても解決すべき問題であり、積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

また、企業のCSR（企業の社会的責任）活動、SDGs（国連で定めた持続可能な開発目標）等の指標、目標がありますが、これらに沿った形で協力していただくことにより企業の社会的評価も高まってまいります。



共創のまちサポート7

## 02 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま



NPO法人ビーンズふくしま  
～子ども・若者のチャレンジを応援する地域へ～

(発表者)  
小林直輝  
影山浩一

### ●設立のきっかけ 1999年9月9日 フリースクールを設立

不登校になった子どもの「学校以外での地域の学びの場」をつくりたいという願いがきっかけで、『フリースクール』を設立。

子どもの学習・居場所づくり、若者の就労・社会参加のサポートを行っています。



フリースクールに地域住民を招待した交流会

### ●団体の目的 『つながりの再生による孤立問題の解消』

不登校や貧困、ひきこもり等の「孤立」状態にある子ども・若者のために、彼らの社会参加や自立を地域住民と共に支えています。

私たちは「地域社会の『つながり』の再生」によって誰もが生きやすい社会を目指しています。

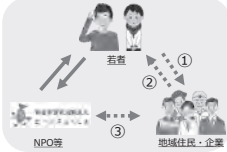


避難生活を送るご家族と地域との懇話会  
NPO法人ビーンズふくしま

## 私たちの思い、考え

### 地域の課題

- ①志のある社会の担い手の不足
- ②若者のチャレンジを応援する環境や機会の不足
- ③若者を支えるNPO・企業・団体等の連携の不足



### 目指す地域の姿

『人と人とのつながり』によって、失敗しても何度でもやり直せる、チャレンジし続けられる持続可能な街へ

『子どものチャレンジ』  
『若者のチャレンジ』  
『大人のチャレンジ』  
を共に支え合う！

NPO法人ビーンズふくしま 3

## 活動紹介



### ①若者(特に高校生)の交流スペースの運営

…学校や家以外の第3の地域の活動場所として、普段出会えない大人や同世代との交流スペースを週1回開催。  
(郡山駅前の一軒家スペースで毎回10人前後)



### ②「社会との接点」となる体験活動の実施

…企業や地域住民に協力いただき、職業体験、ボランティア活動(花植え、清掃)などの「社会を知り、関わる」ことができる活動を実施している。



### ③「仕事づくり」を通じた社会貢献活動

…農家さんから協力いただいた野菜を活用し、毎月1回マルシェやイベントで『ピザ販売』を行っている。ピザづくりや当日の販売は若者と地域のボランティアが一緒になって実施。

NPO法人ビーンズふくしま 4

## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

例：ある企業での職場実習受け入れ後

### 【参加者の変化】

早期退職を繰り返していた若者が  
職場実習先の企業にそのまま就職。  
新規事業部の「柱」として活躍している。

### 【企業の感想】

まずは受け入れてみよう  
↓  
「地元の若者が困ってるんだから、  
地元の大人が育てないと」  
「若者も地域も経済も元気になる」  
※当団体からつながった若者が4名雇用中

### ●若者の声(その他)

ピザの販売に地域の方と一緒に活動して  
⇒「いろんな人に美味しくて言ってもらえて達成感があった」  
⇒「将来は農業に関わる仕事に就きたいと思った」(高校1年生)

### ●企業やボランティアの声(その他)

花植えのボランティアに参加した若者と関わって  
⇒「頑張ってたから『ひきこもり』って言葉がなくなると見て分かんないよ。若い力があるといいね」(商店街の方)

NPO法人ビーンズふくしま 5

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

#### ①活動機会・場所の不足

…「団体から外に出て行う活動」や、「地域のことや企業のことを知る体験活動」などの機会が不足している。

#### ②多様な大人との出会いの不足

…団体スタッフや顔見知りだけの関わりで人間関係が狭い。いろんな大人と出会う機会が少ない。

#### ③持続的な事業運営が難しい

…マネジメントや事業展開に関するノウハウをもったスタッフが少なく、より面白く、より継続的な事業になりにくい

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

#### ①活動機会・場所の提供

…職業体験・見学、社内美化活動でのボランティアなどの受け入れ  
…活動場所(プログラム等実施)の提供、貸出

#### ②若者との多様な交流

…高校生の交流スペースでの講師(趣味や仕事、雑談等)やイベントへの参加を通じた交流  
…中には若者に恋愛の相談をする大人の姿も。

#### ③事業展開の助言や人材交流

若者の育成の幅広い視点がほしい  
…教育・訓練プログラムへのアドバイスやピザ販売がさらに盛り上がるアイデアなど

NPO法人ビーンズふくしま 6

## 企業に向けてメッセージ

「私たちの活動に来て見て、  
若者の声を聞いてください」

「ちょっと遊びに来ました」  
でも大丈夫です！

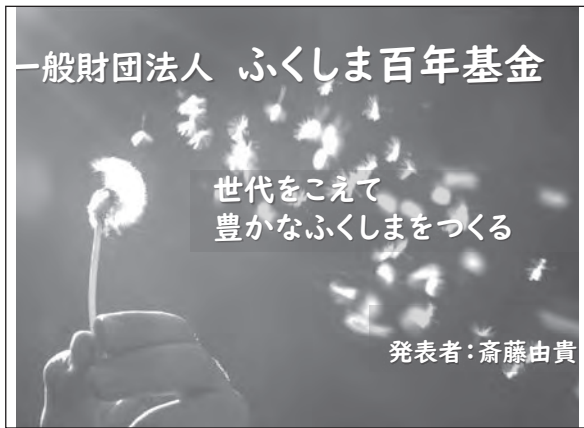
若者の多くは、家族、学校、就活、環境の変化…など「ちょっとしたつまづき」でひきこもりなどの状況になっています。でもその「つまづき」は誰にでも起こることではないでしょうか？「どんなつまづきがあったのか？」「何に困っているのか？」…ぜひ私たちの活動に参加いただき、

まずは知っていただければと思います。  
何度でもやり直し、チャレンジできる地域の創成に向けて、ぜひ今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いたします！



NPO法人ビーンズふくしま 7

# 03 一般財団法人 ふくしま百年基金



| ●設立のきっかけ  | ●団体の目的   |
|---|--|
| <p>—3.11 震災・原発事故—</p> <p>① 「地域のために何かしたい」<br/>たくさんの方が動き出した<br/>(NPO法人伸び率全国1位)</p> <p>↓</p> <p>② 復興関連予算の減少、偏り、<br/>疲弊感</p> <p>↓</p> <p>③ 「地域のために何かしたい」<br/>想いを未来に繋げたい</p> <p>④ 地域課題に向き合う地域力を<br/>高めたい</p> <p><small>一般財団法人 ふくしま百年基金</small></p> | <p>世代をこえて豊かなふくしまをつくる</p> <p>① よりよい地域づくりのための<br/>参画の仕組みをつくる<br/>(企業×NPO×住民×行政etc.)</p> <p>② “想い”や“志”の循環</p> <p>③ ふくしまでの“資金循環”</p> <p>(2018年4月11日設立)</p> <p><small>2</small></p> |

## 私たちの思い、考え

| ▶地域の課題  | ▶目指す地域の姿   |
|---|--|
| <p>① NPOには資金「+伴走」の<br/>支援が必要<br/>…アイデアを具体的プランに落とし<br/>込むための相談相手がいらない<br/>(ビジネス視点の助言者が不足)</p> <p>② 補助金の最終出口が一部、<br/>県外のコンサル業や団体</p> <p>③ 復興関連資金の減少<br/>⇒ 地方創生、企業×NPO<br/>協働関連資金の増加<br/>(協働が資金獲得を左右する時代に)</p> <p><small>一般財団法人 ふくしま百年基金</small></p> | <p>① 挑戦できる、一歩踏み出そう<br/>と思える地域<br/>(NPOでもビジネスでも)</p> <p>② 協働でつくる志と資金の地<br/>域循環<br/>(企業×NPO×住民×行政etc.)</p> <p>③ 経済活性</p> <p>④ 社会課題解決</p> <p>} 両立</p> <p><small>3</small></p> |

## 活動紹介 (2018年度)

「スモスタ!inこおりやま広域圏」の特徴

|   |  |
|---|--|
| <p>A) 寄付で行う助成事業</p> <p>・わかものチャレンジプロジェクト<br/>・スモスタ! inこおりやま広域圏</p> <p>B) 遺贈寄付研修の実施</p> <p>・基礎編(心構えや準備)<br/>・発展編(税と法律)</p> <p>C) シンポジウムの開催</p> <p>・ふるさと納税活用の先進事例など<br/>(子ども食堂などNPO支援)</p> | <p>① 担当メンター制<br/>相談、アドバイスを得ながら事業実施<br/>(メンター: 県内経営者、NPOなど)</p> <p>② 集まった寄付を応援資金として助成</p> <p>↓</p> <p>③ 埋もれていたアイデアが事業化<br/>NPO等の成長(補助金獲得力UP)</p> <p>④ 挑戦できる地域づくり<br/>企業×NPO協働が進む<br/>地域の活性化</p> <p><small>4</small></p> |
|---|--|

一般財団法人 ふくしま百年基金

## 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

A) スモスタ!inこおりやま広域圏

【ご寄付者】  
私も、スモールスタートしたばかりです。皆さんの思いとアイデア、素晴らしいと思  
います。皆さんとともに頑張っていきたい!そんな気持ちです。  
小さな取り組みを長期で支援することが大切だなあと思っています。個人的には  
旅が好きなので、ゲストハウスのプロジェクトが気に入っています!

【採択者】  
担当メンターによる伴走支援がありがたかった。従来の助成金だと資金を受取れるが  
そのほかの支援がない。相談できることが自分にとって重要だったと改めて感じた。

B) 遺贈寄付研修の受講者  
県内ではこれまでに無いテーマの研修、勉強になりました(NPO、士業関係者)

C) シンポジウムの参加者  
こういうふるさと納税を地元でも広めたいです(公務員、NPO、社協関係者)

一般財団法人 ふくしま百年基金

5

## 協働に向けて

|   |  |
|---|--|
| <p>活動・組織での悩み<br/>困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業ニーズの把握</li> <li>マンパワーの不足</li> <li>広報力の不足</li> </ul> | <p>企業と協働したいこと<br/>サポートしてほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント後援</li> <li>広報協力<br/>(ポスター掲示、チラシ配架)</li> <li>企画段階からの協働<br/>・企業オリジナル基金の創設<br/>⇒オリジナル助成事業開発<br/>・寄付つき商品の開発<br/>・チャリティーイベント実施</li> </ul> |
|---|--|

一般財団法人 ふくしま百年基金

6

## 企業のみなさまへ

世代をこえて豊かなふくしまをつくるため

『ふくしまで“志金”の循環 をつくりたい』。

一緒にふくしまの未来づくりをして下さる方を  
探しています。

どうぞよろしく願いいたします。

一般財団法人 ふくしま百年基金

7

# 04 NPO 法人 本宮の映画文化を継承する会

## NPO法人本宮の映画文化を継承する会

発表者：鈴木福太郎

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

### ●設立のきっかけ

- 平成24年、本宮中央公民館で「本宮方式映画教室運動」についてのフォーラムが開かれた。それに参加した市民からその活動の継承を強く望む声が出て、この会が設立された。
- 本宮方式映画教室運動とは昭和30年代、母親たちが子供たちのために、学校、映画館と一緒に良質な映画鑑賞を始めた。また、企画、資金調達などを自分たちで行い、劇場用の映画製作も行い、社会にも多くの影響を与えた。

### ●団体の目的

- ①本宮映画教室運動の継承（子供たちに良質の映画を見せようという行われた運動）
- ②映画文化を通して地域のために何かをしたい想いを繋げたい

このように過去には映画文化がこの地に存在していたことを伝え、そして、またそれを市民が享受出来るようにしたい。

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 私たちの思い、考え

### ▶地域の課題

- ①市民が地元の映画文化に触れる機会が少ない。
- ②地元の映画文化への愛着、ほこりなどが希薄化
- ③映画設備など文化施設が不十分。
- ④青少年が映画の面白さ（映画館、スクリーン）に触れる機会が少ない。

### ▶目指す地域の姿

- ①小規模ながら充実した文化施設があり、市民が気軽に楽しめる。文化行事が多く開かれる。
- ②青少年が成長し、社会に貢献できるような広範囲な知識を身につけられるような、多様な文化との出会う機会が多数ある。
- ③市民が先人たちの文化を誇りをもって提供できる。

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 活動紹介

1. カナリヤ映画祭
  - ①2013年より毎年サンライズもとみやにて開催、今年で第7回目（9/14～15）を実施した。
  - ②映画祭を通して「観る、知る、語る」をテーマに映画を楽しんでいた活動を行っている。
2. ボランティア映画上映会
  - ①地域の集会所で開かれている「ふれあいサロン」にスクリーンとプロジェクターを持ち込み上映会を実施、これは社会福祉協議会の事業への協力として行っている。
  - ②年10カ所以上で開催。
3. 文化遺産・本宮映画劇場紹介
  - ①大正時代に建設された劇場保存のため、劇場見学ツアーをカナリヤ映画祭に合わせて毎年開催。

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

### 1. カナリヤ映画祭

①年々参加者が増えてきている。今年は昨年亡くなった女優 樹木希林さんの特集を行い、多くの来場者があった。

2019年第7回カナリヤ映画祭  
参加者数：約450名  
アンケート集計データ詳細

1. アンケート数 138枚
2. 参加性別 男性 26名(18.8%)  
女性 112名(81.2%)
3. 年齢 7歳～86歳 平均57.7歳
4. 地域別  
本宮 93名 大玉村 8名 二本松 6名 郡山 21名
5. 映画祭開催を何で知ったか  
ポスター25名、チラシ41名、回覧板43名  
FMラジオ4名、新聞4名、知人から36名

②年々、来場者が増え、地元へ根付いてきた。

### 2. ボランティア映画上映会

①当初は年数カ所の実施であったが、近年は十数カ所で行うようになった。

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 2017年度<br>開催 16ヶ所     | 参加人数 379名  |
| 2018年度<br>開催 15ヶ所     | 参加人数 267名  |
| 2019年度（予定）<br>開催 15ヶ所 | 参加人数 約300名 |

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

- ①カナリヤ映画祭、ボランティア上映会、共に年々活動内容は充実してきたが、会の目的の一つである文化の継承に関しては進んでいない部分が多い。
- ②映画祭の青少年の参加が少数であり、ふれあいサロン参加者も老人が主体である。青少年へのアピールが問題である。

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ①映画祭などへの後援（ポスター掲示、チラシの配布、また、会員の募集などへの協力）
- ②若者への広報活動（特にSNSなどの使い方への指導、情報提供）
- ③文化遺産の保存、継承のためへのアドバイス。
- ④映画「こころの山脈」DVD化その販売、また、英語字幕追加後の海外への発信への協力。
- ⑤ボランティア上映会の拡大（青少年向けに開催、そのサポート）

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 企業に向けてメッセージ

- ①地方のイノベーションは若者の広範囲な知識や情熱が必要である。それは地域の文化的な豊かさが必要であり、映画文化がそれを可能にする。
- ②映画が若者に活力を与える。映画がその国や地域の文化を広範囲に表している。多くの良質な映画鑑賞とそれに関しての知識の獲得がそれを可能にする。
- ③高齢者にも元気になってもらう 懐かしい映画がそれを可能にする。
- ④不登校、引きこもりの人たちに上映会開催 暗闇の中、スクリーンを見つめ、上映される映画にみんな感動する、そしてその感動を伝える。この体験は苦しんでいる若者に良い効果をおよぼす。
- ⑤文化遺産『こころの山脈』の海外への発信。映画の素晴らしさと、楽しさをみんなに届けたい、それが人生を豊かにすると思う。是非とも、そのための協力を願いたい。

NPO法人本宮の映画文化を継承する会

## 特定非営利活動法人 青陽

発達障害児、グレーゾーンの子供達の  
自立に向かって



### ●設立のきっかけ

◆発達障害、軽度の知的障害者、またはグレーゾーンの子供達・学生達の社会的自立支援

◆個人の持っているスキルを発表、アピールできる場所を作り、発達障害者への理解を深めてもらいたいと思っています。

### ●団体の目的

◆どんな人間にも磨けば光るスキルがあるものです。

・モノづくり  
切り絵 レジン  
和小物

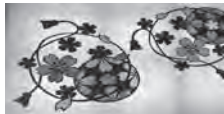
・表現活動  
音楽  
フラダンス

↓

発表の場・ワークショップ・ショップ

↓

社会と共存・自立



## 私たちの思い、考え

### ◆地域の課題

・発達障害、軽度の知的障害、健常者との境に位置するグレーゾーンにいても、磨けば健常者より高いスキルがあり、その能力を一般社会で役立てることができます。

・「障害」を「個性」と置き換えて、お互い支えていけばより豊かな生活ができるようになりますし、障害者の自立に大きく前進すると思います。

### ◆少しの理解と支えがあれば

・「こだわり」は反面、「指示されたことに忠実に」作業するという特徴があります。



・そこで制作した作品を見てもらったり、発表する場を作ることによって、障害者の社会参画の手助けができるとしています。

健常者と障害者が共に動ける場所を作ることが出来れば、理解が深まるのに...

## 活動紹介

- ①切り絵展示
- ②ものづくりワークショップ
- ③イベントでの音楽・フラダンス公演
- ④放課後児童クラブでのイベント補助  
(参加させてもらってます。)

ワークショップでの  
周囲の方たちとの  
ふれあい

## 地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

### ◆放課後児童クラブにインターンとして参加した学生

「子供達との接し方、支援が必要な子供への声かけの仕方を学ぶことができました。保育の勉強をしているので、実際に子供達と接する機会をたくさん持ててあげたいです。」

### ◆ワークショップ教室参加の子供達の声

「月に一回のレジン教室が楽しみです。自分だけのキーホルダーなどを作れるのが嬉しいです。」

「夏休みのカレー作り、遠足など友達と一緒に思い出が作れて良かったです。」




## 協働に向けて

### ◆活動・組織での悩み 困っていること



- ・障害者が能力を発揮できる場所づくり
- ⇒福利厚生の一環として切り絵ワークショップ
- レジンワークショップ 等
- いかがでしょうか。
- ・作製した作品の展示ブース、販売ブース
- ・活動を発表する場・案内広報を積極的に展開したい!
- 場を盛り上げる音楽活動、フラダンス
- 季節に応じた曲目を選曲することもできます。

### ◆企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- 体験活動
  - ・切り絵: 紙(厚紙、特に黒色)、色紙
  - ・レジン: 型、パーツ、UVライト
- \*材料等の補助
- イベント活動
  - ・活動の広報・啓蒙
  - ・楽器、衣装購入の補助
- インターンシップ等の受け入れ
- 体験学習・イベント・展示会・出店等の際の移動の補助
- ・交通手段・移動経費
- ・ショップでの人材派遣etc.
- よろしく願っています!!

## 企業に向けてメッセージ

◆どんな子供達でもその一生は長いものです。その子供たちが自分のスキルを使って明るく、楽しく、自立して生活できる支えを、ぜひお願い致します!



# 06 NPO 法人 相双歴史文化保存会

BEET FARM - since1749 - さとばたけ  
**一般社団法人相馬報徳社／NPO相双歴史文化保存会**

発表： 昌中正一

報徳とは、江戸時代の農政指導者二宮金次郎が教えた農村の具体的な復興施策・思想「安民・勤作・分業・植樹」の4つの徳目を実践することです。




さとばたけ報徳センター

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 1


**●設立のきっかけ**

- ①東日本大震災と原発事故により、職場、自宅が被災
- ②相馬・双葉地域の震災復興のために

NPO相双歴史文化保存会、一般社団法人相馬報徳社設立。



二宮尊徳



さとばたけ母屋 (s.54)

**●団体の目的**

活動内容

- ①震災復興コミュニティ施設さとばたけ報徳センターの運営
- ②報徳仕法の実践 報徳思想をとおして地域の子供たちへの学習支援活動
- ③相馬・双葉地区の歴史・文化等の保存活動 報徳仕法関連文化財等の保存

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 2

**私たちの思い、考え**

**●地域の課題**

- ①相馬・双葉の人口流出
- ②有形・無形文化財の保護、維持が困難
- ③地域経済の停滞、縮小 → 喪失

ほんの少しでも...

**●目指す地域の姿**

天明・天保の大飢饉を克服した仕法で、再度復興に取り組む。

- ①人口減少の歯止めに自分たち1団体が頑張っても限界。
- ②宮城、山形、福島と連携し、地場産品を活かした旧相馬中村藩領の活性化を模索。
- ③農業の6次化をベースに。

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 3

**活動紹介**

**【復興支援コミュニティ】**

- ①お花いっぱいプロジェクト
- ②ドキュメンタリー映画「土徳流離」
- ③アニメ「無念」
- ④東北まち物産紙芝居100本化プロジェクト
- ⑤アニメ「この世界の片隅に」
- ⑥ミュージカル「二宮金次郎」
- ⑦映画「二宮金次郎」


交流イベント

**【人材育成】**

- ⑧全国報徳サミット相馬大会 (R3)
- ⑨全国報徳関係団体連携

**【文化財保護】**

- ⑩旧相馬中村藩御仕法役所 二宮尊徳高弟「富田家住宅」保存活動





お花いっぱいプロジェクト

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 4

**地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化**

- ①震災体験を風化させない取組
- ②相馬さとばたけ報徳センター  
 月約20団体、延べ500人、年間6000人がサークル、地域学習会、イベント等利用  
 さらに、新規事業の実施、発展
- ③宮城・山形・福島県内の企業、関係団体との連携を再構築
- ④二宮尊徳の教えを学び直し、後世に伝える役割



東日本大震災を忘れない

ビートファーム(さとばたけ)事業の本格実施。

地域の住民の方々とのさらなる連携

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 5

**協働に向けて**

活動・組織での悩み 困っていること

- ①人材・資金不足 常駐スタッフの確保 → 活動エリアを拡大
- ②教育の実施 → 福島→仙台→東京へ
- ③地場産品、農産品加工のネット販売
- ④文化財、御仕法役所・富田高慶住宅保存

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ★ 人
- ★ 資金
- ★ 企画実施

→ 協働

松下手幸之助、豊田佐吉、渋沢栄一、稲盛和夫 など 日本のお金持ちが学んだ 二宮尊徳の教えを実践

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 6

**企業に向けてメッセージ**

さとばたけ報徳センター4つの拠点づくりと役割

- 1 住民の絆づくりと交流拠点(サロン)
- 2 協働による地域産業の復旧・復興活動の拠点
- 3 住民互助活動と復興市民活動の拠点
- 4 地域資源を活かした新しい地域づくり

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 7

**お願いしたいこと**

<具体的な収益事業化への取り組み>

★ スタッフの派遣 → 事務所を提供し、共に管理運営

- 1 さとうだいこん(ビート)を原料とした商品開発 → 焼酎(ウオッカ) → 北海道と連携
- 2 農産品加工 → ネット販売
- 3 全国へ活動エリアを拡大
- 4 相馬駒籠、大蔵相馬焼 を復活
- 5 地酒「馬酔」の復活
- 6 報徳役所・富田高慶住宅の保存活動
- 7 宮城、山形、福島県内の企業と連携 → 後継者育成 → 事業を次世代へ継承

民間及び国・県・市の助成事業への応募、事業実施

2019/11/1 ビートファーム(satobatake)一般社団法人相馬報徳社NPO相双歴史文化保存会 8

# 07 特定非営利活動法人 Commune with助産師

特定非営利活動法人  
こみゅーん ういず  
**Commune with 助産師**  
NPOこみゅーん  
子育て女性の健康 Communication & Community

発表者 草野祐香利 永瀬美和 岩崎早苗

### 設立のきっかけ

助産師として産科医療現場や地域での母子訪問活動を通し、妊娠の困惑、出産への戸惑い、不安いっぱい女性の心や体の悲鳴を聞き、新生児や乳児を前に笑顔になれず、「孤育て」に苦しい思いをしている母親を目の当たりにすることが度々ありました。妊娠中の体のケアや産後に一番悩んでしまう授乳について「どこで相談できるのかわからない」「相談できる助産師さんはいるの?」「もっと早く教えてほしかった」という深い憤りのような言葉を胸に刻み、地域における女性の健康、妊娠前から通した子育て支援活動をはじめました。活動を始めて13年になります。

### 団体の目的

「全てのいのちへの感謝と幸せな誕生、安心して子どもを産み育てられる社会」「夢や希望・幸せに生きる権利が尊重される自分らしい豊かな子育てができる社会」の構築に貢献することを目的としています。

NPO法人 Commune with 助産師 1

## 私たちの思い、考え

### 地域の課題

- 2018年、いわき市で生まれた赤ちゃんは2,341人。10年前に比べて1年間に500人程減少。いわき市においても少子高齢化は進んでいる。
- 出産できる助産所はなく、産婦人科の減少、医師不足となっている。
- 妊娠前から妊娠中・出産・産後、心と体の相談を気軽にできる所が少なくなっている。また、核家族化が進み身近に悩みを話せる相手も少ない。

### 目指す地域の姿

親子の健やかな成長、女性の健康を促進できる環境づくりを目指します。

- 健やかな妊娠・出産・赤ちゃん育ちの支援
- 子どもの豊かな成長に必要な「愛」と「遊び」を保障
- 親や養育者の不安や負担の軽減
- 女性に寄り添う主体的なケアの向上
- 子どもに優しい地域の共生協働

NPO法人 Commune with 助産師 2

## 活動紹介

- こみゅーん助産院**  
産前産後ケア、保健指導を行う有床助産院。  
授乳相談、母乳育児支援、乳房ケア、電話相談、妊娠婦・母子支援訪問、助産師のいるサロン、いのちと性の学校講話等を行う。
- こみゅーんクラブ**  
離乳食教室、0歳親子の交流ひろば、赤ちゃん&親子リズム遊び、いるかサロン@防災、なかまほいく等を行う。
- ホームスタート・こみゅーん**  
妊婦、未就学児のいるご家庭に週に1回程度、子育て経験のある研修を受けた市民ボランティアが伺い、お話を聴いたり育児や家事と一緒にしたりします。  
フレンドリーシップを大切にされた支援で、ご利用は無料。
- いわさば**  
いわき市内で子育て・孫育てをしている皆さんとお子さんの成長を応援するサイトです。いわき市内のイベントや子どもと行けるお店や施設・子育てで支援するサービス・地域の人などを「子育て検索」を検索できます。

NPO法人 Commune with 助産師 3

## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

### ○産後入所（宿泊）77ご利用の声

※沢山のアドバイス、自信や安心感をいただきました。利用して本当に良かったです。今後もしも育児で悩んだ時、相談のつてもらいたいと思っています。

### ○産後通所（日帰り）77ご利用の声

※初めての利用でしたが、スタッフさんがとても親切にしてくださいました。お茶やおやつも大変おいしくいただきました。

### ○ホームスタート・ホームビジターのボランティア活動の動機（養成講座後アンケート）

※育児中のお母さんの負担を減らしたり、子育てしやすい地域環境を作りたいため。  
※ひとりひとりの子ども達の人格が保障され未来にはばたけるように、お母さんの支援をしたい。

NPO法人 Commune with 助産師 4

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み困っていること

- 広報力不足**  
助産所で相談できること、産前産後77について知られていない。
- 人材不足**  
イベントやホームビジターで活躍してくれるボランティアが不足している。
- 資金不足**  
正会員、賛助会員を増やしていきたい。  
助成金に頼る状況で、自主事業が確立できていない。  
地域の助産師を雇用できる体制、事務局配置が難しい。

### 企業と協働したいことサポートしてほしいこと

- 広報、ITサポート**
- 子育て支援イベント運営、ボランティア協力**
- 事業実施（委託、資金協力）**
  - 社員さんと家族向けの福利厚生として
    - 妊娠・出産・産後や育児の相談、支援
  - 地域貢献として「助産師の相談室」開設

NPO法人 Commune with 助産師 5

## 企業に向けてメッセージ

いわき地域に助産所を継承し、少子高齢社会の課題解決を図るために、社会貢献事業を推進する企業との協働が必要です。  
ぜひ、ご支援ご協力をお願いいたします。

NPO法人 Commune with 助産師 6

# 08 NPO法人 青空保育たけの子



## ●設立のきっかけ

経済的には豊かな時代になった日本ですが、子どもたちが将来に夢をもてないまま大人になり、世界的にも青少年の自死が多い国であることに疑問を持ちました。もしかしら、子ども時代に思いっきり遊ぶことで変わるのではないかと思います。「青空保育たけの子」を創設しました。今年で10周年を迎えます。

## ●団体の目的

子どもも大人も共に成長し、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる子どもを育てることを目的としています。



2P

## 私たちの思い、考え

### ◆地域の課題

課題(1)  
子どもたちのAKB(あぶない・きたない・ばかばかしい)な遊びを保障する環境(自然・人的・社会的)が整っていない。

### 課題(2)

原発事故以降、子どもたちが特に自然の中で遊ぶことが困難になっている。

### ●目指す地域の姿

原発事故以降の福島では、それ以前よりもさらに自然の中で遊ぶことが困難になっているため、地の利を活かし、山形県米沢市に遊び場を確保し、地域住民を巻き込んだ新しいコミュニティを造っていく。

3P

## 活動紹介



認可外保育施設



森のムツレ教室



冒険遊び場



食農教室



空と土の交流広場



民泊

福島⇄米沢間 震災以降無料送迎中(民泊以外)

4P

## 卒園児の保護者から

たけの子に通うようになってから娘の感受性がとても豊かになったな、と感じています。たけの子の子ども達はみんな本当に子どもらしくくびのびと言っているなと思います。



息子は初め、木に登ることを助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けません。」と言われて、私には衝撃でした。考えてみたら、昔は大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見てなぐられたりという経験がありました。たけの子ではそういう事を大切にしてくれています。

5P

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

- ① NPO法人は認知度が低く、地域活動において協力を得ることが難しいため、人材が不足している。
- ② 無料送迎を継続していくための資金が不足している。

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ① 社内や店舗にチラシを置かせてもらう。
- ② チラシに企業の応援メッセージをいただく。
- ③ ガソリン代(月52,000円)のスポンサーになってほしい。

6P

## 企業に向けてメッセージ

わたしたちがつくり続けている遊びと癒しの空間(環境)の中で、ヒーリングリクリエーション(癒し&野外体験活動)により、自分をありのままに見つめたり、語り合い、学び合う場所を一緒につくらせていただきたい。



7P

# 09 特定非営利活動法人 Global Mission Japan

**特定非営利活動法人  
Global Mission Japan**

**発表者：小野 泉**

**●設立のきっかけ**

- 2011年3.11東日本大震災の直後から緊急救援活動をキリスト教会を母体として始めました。
- 福島原発事故の特殊性を鑑み、しっかりと活動に取り組める体制をめざして、翌年NPOとして設立し、現在に至っています。

**●団体の目的**

- 国際的なつながりを活かして、被災者の方々をはじめ市民の皆さんの交流を盛んにして、地域の発展に貢献することを目的としています。

NPO Global Mission Japan 2

**私たちの思い、考え**

**■地域の課題**

- 東日本大震災、特に原発事故終息の長期化。
- いまだ避難者数は42,290人(本年8月現在)
- 住民の心の復興

➔

**●目指す地域の姿**

- 地域活性化のための交流人口の拡大
- やりがい・生きがいのある地域社会へ

NPO Global Mission Japan 3

**活動紹介**

**国際的なつながり**

**多彩な交流の場づくり**

- ・英会話教室
- ・太極拳教室
- ・コーラス教室
- ・かけっこ教室 etc.,

- ・交流カフェ
- ・市民農園
- ・インターンシップ
- ・イノベコースト視察 etc.,

NPO Global Mission Japan 4

**地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化**

参加被災者の方々の声

「知らない人でも同じ時間を同じ場所で過ごすことで人とのつながり作りができたと思います」

「英会話はなかなか覚えられないが学ぶことの楽しさを感じている。目標を持って前向きになる」

「人とのつながりで特に外国人とコミュニケーションができるからすばらしい」

海外ボランティアの方々の声

「福島の宝、子供たちと一緒に汗をかけてうれしい。Thanks!」

「初めて海に入った。福島の手はなんて綺麗なんだ!」

NPO Global Mission Japan 5

**協働に向けて**

活動・組織での悩み  
困っていること

- 復興補助金制度の縮小不安。
- 持続性のある活動を維持するための収益事業の確保。

企業と協働したいこと  
サポートしてほしいこと

- 企業に必要な英語力強化のために、勉強会・セミナーへの講師派遣や翻訳などを有料で引き受けます。
- 太極拳・コーラス教室についても有料開催できます。

NPO Global Mission Japan 6

**企業に向けてメッセージ**

私たちの国際的なつながり、文化的な活動を大いに活用してください。  
御社の企業内コミュニケーションづくりのお手伝いをします。

全世界40カ国以上  
15,000人以上の  
思いを力タチに  
してました。

NPO Global Mission Japan 7

**活動の様子**

英会話教室

太極拳教室

コーラス教室

かけっこ教室

市民農園

インターンシップ

交流カフェ オープンマイク

イノベーションコースト視察

当団休前にて

NPO Global Mission Japan

# 10 ベルフォンテ

## 転入女性が暮らしやすい福島を創るために



任意団体ベルフォンテ  
藤本草月 西村沙織

### 設立のきっかけ

地域資源を活用した物産開発の団体として設立。  
商品の作り手として福島に住む働きたくても働けない女性(子育て中や配偶者が転勤族の方)と関わる中で、地域や社会との繋がりが持てず孤独や焦りを抱えている転入女性が多いと感じ、H30年度より「転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」を始動。

### 団体の目的

**ビジョン**  
転入女性が「ここに来てよかった」と思える福島を創ります。

**ミッション**  
・転入女性が暮らしやすく、よりいきいきと楽しく福島で生活できる環境づくりを行います。  
・ヨソモノ目線・女性目線・母親目線で福島の地域資源に新たな命を吹き込む商品作りを通じ、福島のイメージをより良いものにします。

## 私たちの思い、考え

### ▶地域の課題

結婚やパートナーの転勤などで自分の意志とは関係なく福島へ転入した女性は以下の状況に陥りやすい。

- ①外部との関わりを持ちにくく孤独を抱えている
- ②仲間がいないために生活情報を入手しにくい
- ③仕事ができないために社会とのつながりを持ちにくい

そのため、福島に対してネガティブな印象を持つ方も少なくない。移住者へのサポートはあるが、転入女性へのサポートはほとんどないのが現状。

### ▶目指す地域の姿

・仲間ができ、地域の良さを知り、居場所ができ、さらには活躍できる場があることでいきいきと生活する転入女性が増える。

・転入女性が福島で仕事をし、福島で役割を持つ。(在宅や短期間のできる仕事など)

↓  
福島にポジティブな印象を持つ潜在的な福島のファンが増え、福島との繋がりが持つ関係人口が増える。福島の良さを発信してくれる人となる。

## 活動紹介

### ①WELCOMEワークショップ

目的: 福島の事を学びながら、仲間づくり  
内容: 福島の素材を使い、魅力を発信する内容のワークショップ

- ✓ 金水晶の酒粕を使ったコスメ作り
- ✓ いかにんじん作り
- ✓ 福島の春を詰め込んだボトルフラワー作り



### ②tenten cafe (座談会)

・情報交換  
(病院、幼稚園、学童、グルメetc)  
・仲間づくり  
・大人会では仕事にテーマを絞って悩み  
の共有と情報交換



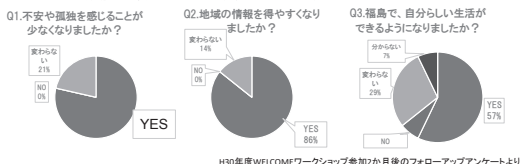
### ③転入女性の暮らしを応援するWEBサイト(tenten)の運営

・転入女性目線での暮らしの情報発信  
(ライター講座を実施)  
・イベント情報発信  
・tentenmapの作成



## 参加者や周辺の反応や変化

### コミュニティ所属者数のべ216名(9月16日現在)



### 参加者の主なコメント

・知らない土地に来て不安になっていた人が私だけじゃないと思えた。地域の事を教えてもらったり、話していく中で私も福島市を好きになっていった!たくさん情報を得られて行動の範囲も広がりました。  
・イベント情報などを教えてもらえるので、家族で出かける機会が多くなった。  
・福島のいいところを見つけるように私自身が変わりました。  
・tentenで毎週くる情報を楽しみにしています。



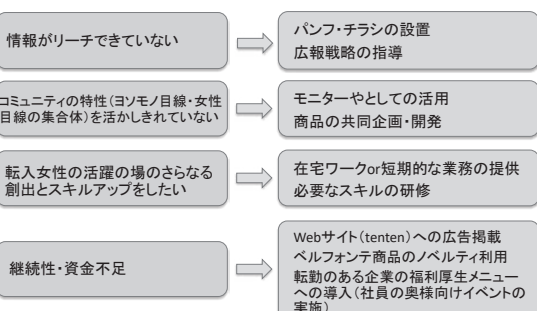
## 波及効果

- ✓ 行政からtentencafe開催の依頼(県南振興局・南会津振興局・県東京事務所)
- ✓ 県北振興局から移住セミナーゲストの照会
- ✓ 福島民報情報ナビTimeで  
転入女性コラム連載開始(2019.4から月1回)
- ✓ コミュニティメンバーへの仕事の依頼  
・チラシデザイン ・Webライティング
- ✓ 仕事のマッチング  
・福島市観光コンベンション協会  
・選挙事務所短期スタッフ  
・果樹農家事務作業スタッフ
- ✓ モニターの依頼(家系図作成会社)



## 協働に向けて

～悩み・困っていること～



## 企業に向けてメッセージ

転入女性のコミュニティ作りと活躍の場づくりは、今眠っている潜在的なパワーを掘り起こす活動でもあります。企業様ともwin-winな関係で協働をしていきたいと思っております。  
**転勤のある企業の方へ**  
社員様のご家族までもが笑顔で暮らせる環境作りを一緒に取り組みませんか。

### ※2019.7.1 郡山市は「SDGs未来都市」に選定されました

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトは17の目標のうち「5 ジェンダー平等を実現しよう」に当てはまります。



# 11 特定非営利活動法人 つなぐ舎

## 特定非営利活動法人 つなぐ舎





発表者 理事長 菅野秀樹


1

### ●つなぐ舎設立の趣旨

ひとひとをつなぐ  
こととことをつなぐ  
思いと思いをつなぐ


↑

会津の地域研究  
映画作品の自主上映  
子ども食堂の運営



### ●つなぐ舎の活動目的

会津で共に生きる人々が  
不当な差別や排除をされたり  
孤立したりすることなく  
互いにつながり合い  
希望を持って生き  
思いや願いをかなえるための  
種を蒔くこと。



2

## 私たちの思い

### 会津地域の課題

- 過去においては、会津地域には様々な形態の映画館が存在したが、現在は全て無くなってしまった。
- これにより会津地域では映画館で映画を見る機会が極端に少なくなり、現代の課題を扱った、多様な映画作品に触れにくくなっている。

### 目指す地域の姿

- 会津について深く知る。
- 外の世界について知る。

映画は最良のツール

これからの生き方について考えるきっかけとなる  
多様な映画作品の上映

↓

会津に生きる人々が広い視野で学べる場を得る。

3

## これまでの活動紹介

福島県立博物館における  
映画作品自主上映会

- 第1回  
『新地町の漁師たち』  
『地球交響曲 第8番』  
動員数35名・スタッフ2名
- 第2回  
『息の跡』  
『地球交響曲 第7番』  
動員数54名・スタッフ2名

◎只見町における  
映画自主上映協力  
『水になった村』  
動員数約80名  
スタッフ10名




4

## 地域・参加者の反応や変化


福島県立博物館講堂における映画の自主上映会においては、第1回、第2回ともに50名を超える動員を得ることが出来た。

会津若松市主催の、市文化センターで行われている映画会はどの番組も満席になるくらいの盛況を呈している。

↓

会津地域での映画の潜在的需要は高い。

観客の皆さんは、自分たちの地域の歴史や生活と関わりが感じられる映画に対しては、真剣に向き合ってくれる。



5

## 協働に向けて

### 自主上映活動上の悩み

(上映会場の確保が最大の課題)

- 自主上映会に使用できる映画上映に適した施設が少ない。
- 公共的施設は常に混んでいて上映会を入れ込む余地が少ない。
- 一般のホール等は使用料が高く、また使用上の様々な制限があり、容易に借りることができない。

### 企業と協働したいこと

(企業と共に行いたいこと)

- どのような映画を提供していくのか企画の段階から考え、共に自主上映会を創っていききたい。
- 企業の所有する施設を有効に活用することにより、収益性のみにとらわれない活動を共に行っていききたい。
- この活動を通して社会貢献の意義を共にアピールしていききたい。

6

## 会津の企業の皆様へ

- 会津は地理的・自然環境的・人的環境的に高いポテンシャルを持つ地域です。
- これからの会津をより良くしていくためには、『会津』について知ると同時に、現代的な様々な課題と自分たちを、結びつけて考えていく必要があります。
- 映画上映は、その学びのための手段の一つとしてたいへん有効で、かつ楽しい活動です。

ぜひ、一緒に自主上映会を  
創っていきましょう。

7

# 12 NPO法人 サポートクラブ キャロット

## NPO法人サポートクラブキャロット キャロット八山田

職業指導員（兼）事務員  
保科守男




### ●設立のきっかけ

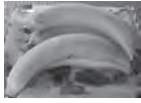
■長い間、職員として保健所等障がい者福祉関係に携わって来ました。ある時、施設訪問をした際、施設利用者がそっと無言で私にバナナを差し出しました。その時の笑顔が何とも覚えませんでした。

心で思っていた言葉を口に出さず、なりたてになった病気でない、社会の無理解があるのでは？と感じたのがきっかけでした。（理事長 戸田富美子氏）

### ●団体の目的

○障がいのある人が充実した毎日を送られる

○障がいのある人の社会復帰に向けた活動・生活に対する援助・支援を行う



○きっかけとなったバナナ


## 私たちの思い、考え

### ■地域の課題 (障がい者に対する課題)

- ①地域の中で当たり前のように生活し、当たり前前に活動したい
- ②資金の確保と生活への支援
- ③自分の能力に合った社会貢献をしていきたい

### ●目指す地域の姿 (団体の目的)

障がい者も健常者も共に手を取り合って、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現を目指します。



→ 不十分

## 活動紹介

■ 事業所名：キャロット八山田 定員 20名 職員 5名  
■ 平均工賃：平成 29 年度実績 14,278 円/月（時給 165 円）  
＜参考＞福島県最低賃金（平成 29 年度現在）748 円/全国 848 円

現在請け負っている主な仕事・・・

- ① レモンの袋詰め (株) あさかのフレッシュ 約 10名
- ② 箸の袋入れ (株) 清福紙工 20名
- ③ ポステイング (株) リビングプロシード 約 10名
- ④ メール便 1名  
新設組 (ライブラリー) の配布/ヤマトメール便配達  
チラシ折込 1,200 部/郵便配付 1,200 部
- ⑤ 箱折 (株) 大幸技研 約 3名
- ⑥ 卵パック詰め 本宮鳥骨鶏卵 1名
- ⑦ アパート清掃 (株) リビング保証システム 3名

※ DM、チラシ創製、清掃業務等受け入れます。  
※ 過去にボールペン組立、パチンコ台解体実績あり。

## 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

### 利用者の変化の一例


私がキャロットで働き始めた頃は、毎日居眠りばかりしていた利用者が、最近では少しずつですが自分から声をかけてくれるようになり、笑顔も見られるようになり、自分もうれしくなりました。これも地道に毎日声掛けをした結果？と自画自賛しています。これからも毎日、利用者寄り添っていききたいと思います。



## 協働に向けて

活動・組織での悩み困っていること

工賃向上に向けて、安定した仕事の確保が難しい



企業と協働したいこと  
サポートしてほしいこと

**仕事の供給又は紹介の継続**


※利用者が出来る仕事は、主として座ってやる軽微な作業が中心

**企業様に対するのメリットは、安い手間で労働力を得ることができる！**

↓

将来は、福祉施設から一般企業へ1人でも多くの障がい者を送り出したい。

## 企業に向けてのメッセージ



私たちは、障がい者も健常者も共に手を取り合い、寄り添い、明るく楽しい生活が出来るよう地域、社会づくりを目指します。企業の皆様にも是非このような地域、社会づくりに参加して頂き、皆様の知識等をお借りし、その実現のためにご協力お願い致します。

# 13 一般社団法人 fukucier



## ●設立のきっかけ

ケアマネ時代に、「好きなことができないなら死んだほうがましなんだ」という高齢者の方に多数お会いしたことです。介護保険などの公的サービスでは、生きるために使用できませんが、好きなことには使用できないのです。公的サービスの補完的役割が必要だと思い、創業致しました。



## ●団体の目的

アクティブシニアや子育て中の女性等の勤勉性や意欲を活かすことで、介護人材不足を解消できるだけでなく、社会保障費を抑制することにも繋がります。支援が必要な方も、サービスを提供する方も双方の生きがいややりがいを重視し、人生を最後まで輝いたものとするを目的としています。



## 私たちの思い、考え

### ■地域の課題

- ・ 介護人材不足
- ・ 高齢化率の上昇
- ・ 社会保障費の増加

### ●目指す地域の姿

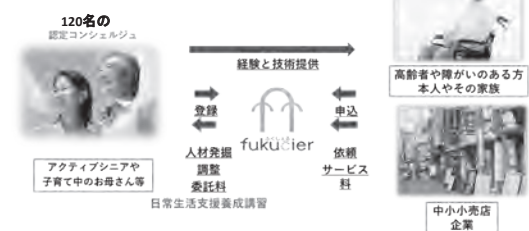
60代以上の方～要介護者まで、「生きがい・やりがい」をもてる仕組みを構築することで、日常生活の中で、介護予防・重度化予防につなげ、健康寿命の延伸を目指す。



今の高齢者は、若い！

## 活動紹介

### 介護マッチングシステム



### サービス事例

- 離れて暮らすお子さんに会いに電車内での介助
- 介護認定前の排泄や入浴介助
- 婚姻により障がいサービスを受けられない発達障害の方へのお掃除の仕方ハブリ
- ゴミ出し
- ご本人と一緒に息子さんへの調理
- お墓参りでの介助

## みんなの声

1人暮らしで身寄りもないのに、まだなんでもできるから介護サービスが受けられなくて困っていたから助かった。(90代 利用者)

離れて暮らす母が心配。かゆいところに手が届く、公的サービスも連携しているから、介護のセカンドオピニオンですね。(認知症の親を持つ50代)

少し障がいがあるかな？という方も立派に働き手に。また、次回もお願いしたい。(ケアマネジャー)

定年後に資格は取ったけど働く機会がなかった。これなら得意なことを仕事にできるのが安心。(60代 認定コンシェルジュ)

市町村圏域を越えた支援方法がなかったため、助かった。(病院社会福祉士)

## 協働に向けて

### 活動・組織での悩み 困っていること

- ① 広報力不足  
東北初のサービスであり、一般の方に馴染みがない。一般の方へ向けた十分な広報がされていない。
- ② 情報発信力の不足  
事務局の人員不足や知識情報の不足によりWEBやSNSによる発信に効果が見られない。

### 企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ① 高齢化に対応できるサービスの協働開発  
例：会社の福利厚生、旅館やレストラン、小売店の高齢者対策等
- ② 広報協力  
企業の営業ネットワークやイベント等にて告知などの広報の協力願いたい。→介護離職防止
- ③ 一般の方向けの介護セミナー  
企業のセミナー等において事業の説明や介護保険等の説明を通し、情報を発信したい。

## 企業に向けてメッセージ

日本は、世界一の高齢社会です。2025年には日本の人口の1/3が高齢者(65歳)となります。弊社の、登録者の半数以上は医療福祉の有資格者です。企業様と協働することにより、様々な高齢化対策ができ、それは必ず、一人ひとりが楽しみや生きがいを持ち、「最期まで輝く」助けになることができると考えております。ご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。





# 14 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

特定非営利活動法人  
**小野自然倶楽部**

代表理事  
大方 俊浩



1

●設立のきっかけ

●団体の目的

小野町内において2年続けて不審火による火災で5人の子どもの尊い命が奪われました。他の地域でも自然のなかでの事故などで多くの子どもの犠牲者が出ているため、自然体験、アウトドアスポーツを推進するため2005年に設立しました。

小野町を中心とした田村郡地域とその周辺の子どもたちに対し、地元での環境学習、自然体験活動、食育体験を通して、地域の自然環境保全、自己の危機意識の確立などを目指して、その意識を次世代まで引き継いでいけるように手助けすることを設立の目的としております。



緑とのふれあいの森公園・外観



MTBでの公園内散策

2

私たちの思い、考え

▶地域の課題

深刻な過疎化、少子化

少年の団体競技  
⇒個人競技へ移行推進

原発事故のための  
森林体験の減少

屋外での遊びや体験の減少

↓

小学生の肥満が進んでいる  
ためその対策が急務

●目指す地域の姿

今後、若者の人口比率が増えないと考えれば、今の子どもたちをいかに成長させるか、そして将来地域の担い手として活躍してもらうにはどうしたらよいか？

国有林無料借上げ制度(遊々の森)を長年申請し、今年度受理されました。

森林体験、スポーツなどを通して将来、北海道常呂町のカーリング娘たちのように地域全体で応援できる子どもの育成に関わっていただくことができれば最高だと考えコースを設置いたしました。

3

活動紹介

1. みどりとのふれあい活動

森林アスレチック

MTB(マウンテンバイク)体験

2. 食育活動

羽窯ごはん

3. 自然の大切さの育成活動

水生生物・水質調査

植林活動

4. 地域交流活動

和楽器奏者によるワークショップ

4

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

今、小野町の緑とのふれあいの森公園というキャンプ場が併設された森林公園を委託、管理しております。そこでキャンプに来た親子を観察しています。(トーク)

地域の大人たちも子ども会行事と称し、公園にバーベキューや芋煮会などに来ておりませんが、森林体験の必要性が感じられる。

5年前、(公財)日本環境協会と連携して植林活動を行い当時、小学2～3年生だった子供達が中学生になっていて、各部活動でそれぞれが活躍しているため、育樹活動に参加できなかった。

土鍋コンテスト

三代交代イベント  
竹巻パン作り

5

組織の運営、協働について

活動・組織での悩み困っていること

- 1、後継者の育成。
- 2、運営資金
- 3、スタッフのスキルアップ
- 4、他団体との連携

自治体、企業と協働したいことサポートしてほしいこと

勉強会の設置

今春、実のなる木の苗木植林するためのボランティア

資金面でのサポート

他団体との連携、共同の場。

競技活動経験者のボランティア派遣

6

今年度の活動

今年度行った桜の植樹活動とその作業道を利活用して行ったMTBの3時間耐久レースの1コマです。桜の植樹には120名の参加者 MTBレースには70名の県内外から集まりました。










7

来年度の活動予定

私たちの団体は、とにかく子供の将来を見据えて地域での自然体験などを通して地域の良さを感じてもらい、将来この地域において各分野のリーダーとなり活躍し、次世代につないでいくことが大切だと考えます。

今年度は、借上げた国有地内に遊歩道、MTBコース設置、を行いました。そこで来年度実のなる木の植林を行います。

その他に、こまちダム湖を利用して、カヌーやヨットの体験も随時できるようにします。

小町ダム湖の堰堤、ダムを利用し県民や地域の人たちが利用し気軽に参加できる、「バカラスロン」の開催を目指します。






8

# 15 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎

特定非営利活動法人寺子屋方丈舎

子どもとつくる学びの場 子ども食堂

理事長 江川和弥




寺子屋方丈舎とは

- 活動目的：『子どもの社会参画を支援する』
- 設立：2001年2月27日法人化
- 理事長：江川 和弥（理事4名）
- 活動地域：福島県会津地域
- 設立目的：学校に、通う子どもも、通わない子どもも同じように、学び、成長してゆく社会の実現、子どもの社会参画ができる社会の実現
- 事業概要：
  - フリースクール事業（通信制高校）
    - 学校外の学びの場、自分で考える。答えは決して一つではない
    - 環境教育事業
      - 被災者支援
        - 学童保育（大熊町）、学習支援、
        - 子ども食堂
- 財政規模：約4,500万円（2018年実績）
- 職員：9名（非常勤含む）
- ボランティア：約30名

- 寺子屋方丈舎の目的：不登校の子どもたちが、人権が認められ尊厳がある存在として生きることが可能な社会の実現
- 江川和弥(NPO法人寺子屋方丈舎理事長、フリースクール全国ネットワーク代表理事、日本子どもNPOセンター理事、子どもが自然と遊ぶ森林ネットワーク幹事、ふくしま子ども食堂ネットワーク代表)
- 略歴：1964年生。高校中退し大倉倉倉により大学へ、専修大学法学部卒
- 95年～99年 会津若松市教育委員会教育相談員（不登校問題に関わる）
- 1999年 寺子屋方丈舎設立
- 2002～2003年 福島県子育て子育て推進会議委員
- 2007年～2011年 うつくしまNPOネットワーク副理事長
- 2002～現在 NPO法人 寺子屋方丈舎理事長
- 2017～ふくしま子ども食堂ネットワーク代表
- 著作『豊かな子ども期を保障する子どもの権利条約』明石書店（共著）『TS-11 被災子ども白書』明石書店（共著）『子どもNPO白書2015』エイデル研究所（共著）。

当団体のビジネスモデル



フリースクール事業 800万  
子ども食堂事業 1,500万  
環境教育事業 1300万  
行政との協働事業 1,000万

受益者負担助成金、寄付助成金、委託金

ひとり親世帯の現状①

25年間で、母子世帯は1.5倍、父子世帯は1.3倍

母子世帯数：84.0万世帯（123.0万世帯（ひと）親世帯の約65%）  
父子世帯数：17.3万世帯（22.9万世帯（ひと）親世帯の約15%）  
（昭和63（1985）年度） （平成23（2011）年度）

|               | 母子世帯  | 父子世帯  | 一般世帯               |
|---------------|-------|-------|--------------------|
| 総世帯           | 80.0% | 91.3% | 女性4.4%<br>男性81.6%  |
| 専業主婦の割合       | 42.0% | 87.1% | 女性45.6%<br>男性80.1% |
| 専業主婦の割合（専業主婦） | 57.0% | 12.9% | 女性54.4%<br>男性19.9% |
| 平均年収          | 581万円 | 460万円 | 平均年収所得             |
| 総所得           | 272万円 | 249万円 | 全国平均所得             |
| 総所得           | 125万円 | 179万円 | 所得279万円            |


（資料）厚生労働省「ひとり親世帯の現状」

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

- 会津若松市1000人の学用品・給食費補助の児童生徒
- 学校と過程以外の第3の居場所（安心・安全）
- 肯定のシャワー
- 自己肯定感を高める
- 虐待、いじめ相談の増加
- 地域の中で、支え合いの場としての子ども食堂
- ゆっくりと子どもと地域が変化する
- 過程と学校の往復になる
- 子ども（親と教師以外に大人のモデルがない）
- 貧困の連鎖
- 社会的なサポートの不足

誰もが調理に参加し、つくることを通じて互いに交流、支え合う

現在：週1回づつ市内で5回実施（約60名参加）  
夕方16:30～宿題、料理、一緒に食べる、後片付け  
19:30おかえり



事業実施の枠組みづくり(子ども食堂)

| ステークホルダー     | 役割                                |
|--------------|-----------------------------------|
| 寺子屋方丈舎       | 事業推進の事務局、事業コーディネイト                |
| 企業・生協・IA     | 食材の提供、活動場所の提供・寄附金、ボランティアとしての参加    |
| 会津若松市社会福祉協議会 | ボランティアの募集窓口、貧困問題の相談窓口             |
| 会津若松市        | 事業の広報、事業運営への助言、子どもの貧困問題への課題解決への協力 |

月一回、上記4団体が運営についての話し合いをしながら、事業を進めていく。当該団体の事業ではなく、4団体の事業であるという位置付けを行う。事業推進が加速される

企業との連携「寄付商品づくり」



今後 取り組むべき課題

- 県内小学校446校、2学区に1箇所の子ども食堂の設置  
目標224箇所（充足率18%）
- 子ども食堂の多様な役割  
ソーシャルワーク  
保護者相談
- 行政との連携の広がり
- 運営課題の整理
- 資金源の多様化  
寄付集めを手伝って欲しい
- 企業との連携強化  
→食材やボランティア確保
- 人材育成  
(こどもへの視点)  
(事業コーディネーター)  
(失敗することを大事に)

# 16 ふくしま子ども食堂ネットワーク

### ふくしま子ども食堂ネットワーク




事務局 宮川洋


### ふくしま子ども食堂ネットワーク(2019.9.8現在)

2017年8月11日設立。福島県内の子ども食堂の増加に活動の持続性を高めることを目的に支援を行っています。  
加盟団体：18団体が県内21か所で活動中（2019年6月末時点）

◆活動が必要とされる状況  
NPO法人全国子ども食堂支援センターより「ふるさとの調査」によれば、2019年6月末時点で全国に少なくとも3718か所の子ども食堂が存在、福島県は41か所（前年13増）が確認されています。  
小学校数を基準に充足率をみると全国平均は17.3%（6歳に1か所程度）ですが、福島県は9.2%（全国58位）となっています。  
新たな子ども食堂の開設と既存の子ども食堂の活動を継続・発展していくための仕組みづくりを進めています。

| 階級名(団体名)         | 運営地域      |
|------------------|-----------|
| 1 寺子屋方丈会         | 会津若松市内2カ所 |
| 2 ビーンズふくしま       | 福島市       |
| 3 つばき会           | 郡山市       |
| 4 グレースコミュニティサービス | 郡山市       |
| 5 太田記念福祉会        | 郡山市       |
| 6 kokoyori       | 須賀川市      |
| 7 あんどんて          | 白河市       |
| 8 あおいでら          | 二本松市      |
| 9 コープ福島          | 福島市       |
| 10 つなぐ会          | 会津若松市     |
| 11 ぽんじいの会        | 郡山市       |
| 12 子どもカフェまご      | 福島市       |
| 13 白河子ども食堂       | 白河市       |
| 14 チョカラ          | 白河市       |
| 15 キッズスタジオPORTA  | 郡山市内2カ所   |
| 16 まゆみ学園         | 二本松市      |
| 17 共創のまちサポート     | いわき市      |
| 18 南相馬社会福祉法人連絡会  | 南相馬市      |

### 事業概要



- ◆ネットワーク  
福島県内の子ども食堂、行政、民間企業をつなぎ、寄付や寄贈、情報共有の場をつくらせています。
- ◆子ども食堂へのノウハウ共有  
新規立ち上げ相談、運営課題の解決、資金調達などについて研修会を開催したり、コーディネーターが団体ごとに個別支援を行っています。
- ◆ふくしまこつながる子ども食堂応援プロジェクト  
福島民友新聞社、地域創造基金などと3者協働プロジェクトを立ち上げ、2019年6月福島県内14団体へ493万円の資金助成を実施。
- ◆啓発  
子ども食堂フォーラムの開催、ホームページ・Facebookを活用し、子ども食堂関係者だけでなく、一般市民を含めて子ども食堂の活動への理解を深めています。




### 地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

- ・会津若松市1000人の学用品・給食費補助の児童生徒
- ・学校と過程以外の第3の居場所(安心・安全)
- ・肯定のシャワー
- ・虐待、いじめ相談の増加
- ・自己肯定感を高める
- ・過程と学校の往復になる子ども(親と教師以外に大人のモデルがない)
- ・地域の中で、支え合いの場としての子ども食堂
- ・貧困の連鎖
- ・社会的なサポートの不足
- ・ゆっくりと子どもと地域が変化する




### 子ども食堂が果たしている役割



- 子どもにとって安心できる居場所
- 誰かと一緒に食事をする事の安心感(五感で感じる)
- 家庭でも学校でもない「文化」との出会い  
多様性、肯定感、安全、自由
- 子どもだけではなく、保護者や地域の高齢者にとっても居場所

### 誰もが調理に参加し、つくることを通じて互いに交流、支え合う

現在：週1回づつ市内で5回実施(約50名参加)  
夕方18:30～着席、料理、一緒に食べる、後片付け  
19:30おかえり



(Egawa Kazuyuki(寺子屋方丈会))

### 今後 取り組むべき課題

|  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内小学校446校、2学区に1箇所の子どもの食堂の設置<br/>目標224箇所(充足率18%)</li> <li>・子ども食堂の多様な役割<br/>ソーシャルワーク<br/>保護者相談</li> <li>・行政との連携の広がり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営課題の整理</li> <li>・資金源の多様化<br/>寄付集めを手伝って欲しい</li> <li>・企業との連携強化<br/>→食材やボランティア確保</li> <li>・人材育成<br/>(子どもへの視点)<br/>(事業コーディネーター)<br/>(失敗することを大事に)</li> </ul> |
|--|--|

(Egawa Kazuyuki(寺子屋方丈会))

## 7 マッチング事業 参加 NPO

令和元年度 本事業に参加した福島県内のNPO(16団体)

### 01 特定非営利活動法人 共創のまちサポート

住所／いわき市平字高月103-1 TEL／090-6251-5814(増子)

URL／<https://www.facebook.com/kyousounomati.iwaki/>

### 02 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

住所／福島市矢剣町22-5 TEL／024-563-6255

URL／<http://www.beans-fukushima.or.jp/>

### 03 一般財団法人 ふくしま百年基金

住所／福島市清明町1-7大河原ビル2階 一般社団法人ふくしま連携復興センター内 TEL／024-573-2640

URL／<https://www.cf-fukushima.org/>

### 04 NPO法人 本宮の映画文化を継承する会

住所／本宮市本宮字南町裡86 阿部写真館内 TEL／0243-34-2175

URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000949>

### 05 NPO法人 青陽

住所／いわき市平下神谷字立田帯5 磐城高等芸術商科総合学園内 TEL／0246-34-4555

URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007001063>

### 06 NPO法人 相双歴史文化保存会

住所／福島市森合字丹波谷地前14-21 TEL／024-559-3290

URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000728>

### 07 特定非営利活動法人 Commune with助産師

住所／いわき市平谷川瀬2丁目11-2 TEL／0246-23-3303

URL／<http://cw-jyosanshi.com/>

### 08 NPO法人 青空保育たけの子

住所／福島市郷野目字金込町8 TEL／070-1143-1166(辺見)

URL／<https://www.takenoko-aozora.org/>

### 09 特定非営利活動法人 Global Mission Japan

住所／いわき市平字尼子町2-7 TEL／0246-23-5490

URL／<https://globalmissionjapan.com/>

### 10 ベルフォンテ

住所／福島市大町2-18 石屋小路ビル2F TEL／090-3470-4708(藤本)

URL／<http://belfonte.info/>

### 11 特定非営利活動法人 つなぐ舎

住所／会津若松市門田町黒岩石高17-15 TEL／0242-28-4582

URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007001092>

### 12 NPO法人 サポートクラブ キャロット

住所／郡山市八山田6丁目73 TEL／024-983-6125

URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000506>

### 13 一般社団法人 fukucier

住所／会津若松市中央1-5-29 B.Step304 TEL／0242-93-7272

URL／<https://fukucier.com/>

**14 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部**

住所／田村郡小野町大字小戸神字宮ノ前397-2 TEL／0247-72-4678  
URL／<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000879>

**15 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎**

住所／会津若松市大町一丁目1-57 紀州屋 TEL／0242-93-7950  
URL／<https://www.terakoyahoujyousha.com/>

**16 ふくしま子ども食堂ネットワーク**

住所／郡山市富久山町久保田字下河原191-1 NPO法人コースター内 TEL／070-5590-1655(宮川)  
URL／[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/gi5qo](https://peraichi.com/landing_pages/view/gi5qo)

以上16団体(参加申込順)

## 8 マッチング事業 参加企業

令和元年度 本事業に参加した福島県内の企業(14社)

### 01 株式会社 クレハ環境

住所／いわき市錦町四反田30 TEL／0246-63-1333  
URL／<https://www.kurekan.co.jp/>

### 02 株式会社 インフォメーション・ネットワーク福島

住所／福島市山下町5-10 NTT山下第2ビル3階 TEL／024-524-1188  
URL／<https://www.inf.fukushima.fukushima.jp/>

### 03 株式会社 いちい

住所／福島市さくら一丁目2番地の1 TEL／024-594-1111  
URL／<http://www.ichii-yume.co.jp/>

### 04 株式会社 日本政策金融公庫 いわき支店

住所／いわき市平字菱川町1-5 TEL／0246-25-7251  
URL／<https://www.jfc.go.jp/>

### 05 蕎麦カフェ會KAI

住所／会津若松市七日町2-40七日町パティオ1F TEL／090-6852-0133(大塚)  
URL／なし

### 06 鈴木実 行政書士事務所

住所／二本松市亀谷二丁目243番地 TEL／0243-23-3390  
URL／なし

### 07 株式会社 えこでん

住所／郡山市安積町日出山2-19-4 TEL／024-954-3625  
URL／<http://www.eco-den.co.jp/>

### 08 いわき信用組合

住所／いわき市小名浜花畑町2-5 TEL／0246-92-4166  
URL／<http://www.iwaki-shinkumi.com/>

### 09 玉鈴醤油 株式会社

住所／伊達市保原町泉町23 TEL／024-576-2355  
URL／<https://tamasuzu.co.jp/>

### 10 山口薬品 株式会社

住所／郡山市安積町2丁目6-1 TEL／024-946-0066  
URL／<http://www.yamayaku.com/>

### 11 トヨタカローラいわき 株式会社

住所／いわき市平字堂ノ前5 TEL／0246-22-6157  
URL／<https://iwaki.corolla-dealer.jp/>

### 12 株式会社 エヌ・エス・シー

住所／会津若松市神指町大字黒川字湯川東218 TEL／0242-22-6663  
URL／<http://nsc-aizu.com/>

### 13 伊達貨物運送 株式会社

住所／伊達市箱崎字沖前73番地3 TEL／024-583-4151  
URL／<http://www.datekamotsu.co.jp/>

#### 14 MUSIC PLAZA 白水堂

住所／会津若松市米代2-2-5 TEL／0242-36-6601

URL／<http://blog.livedoor.jp/mph/>

以上14社(参加申込順)

## 9 事後アンケート調査について

11月のマッチング会が終了した2か月後、参加NPO(16団体)・参加企業(14社)に、その後の協働事業に向けて継続している活動や成果について調査するため、事後アンケートを実施した。

<実施日>

令和2年1月22日(水)～2月10日(月)

参加NPO(16団体)と参加企業(14社)へのアンケート調査

### 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業 事後アンケート 集計(NPO)

◆参加NPO 16団体(令和2年2月実施)

◆アンケート回答数 15(回収率93.8%)

#### 1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 2回目の参加だったが、やっと皆さんに足並みを揃えてできるようになったかなと思う。
- まだ結果を出せていないので何とも言えない。
- 印象としてはフォーマルな形で行っているのだから、参加者同士の手さぐり感が緊張につながったのはもったいない。
- 初めての参加の中で大変役に立ったと思う。今後に向けて色々とNPOとしての体制づくりに役に立った。
- 有意義だった。
- 企業数が少ない。
- 自分が考えていた今後の事業化への内容が、アドバイスと共に整理され、具体的に確認することができたことがとても良かったと思う。
- 私たちの活動を知っていただくいい機会だった。また他のNPOの方たちの活動を知る機会にもなり、繋がりを持つことができた。
- 平成30年、31年度と2年間参加した。企業の方に障がい者福祉事業の概要を理解して頂き、協力(仕事の斡旋)をお願いした。現時点では、昨年・今年と理解を示してくれた企業は2～3あったが、仕事を頂けるまでにはいかなかった。
- 普段の活動では出会えない企業にアプローチできたので面白かった。
- 参加がきっかけで、今まで取り組まなければいけないと感じていた営業資料作成に取り掛かることができた。プレゼン用の資料にも的確なアドバイスを頂いたので、よりシンプルに見やすいものを作ることができた。また、プレゼン当日も各企業の方と話をすることができ、価格帯や企業向けのメニュー作りをどうしていけばいいのか教えて頂けた。
- 事前講座になかなか参加できなかった。
- 基本が学べて良かった。報告会などの成果報告には慣れていたが、売り込み型にはこれまで遠慮があったことに気づかされた。プレゼンのコツを知ることができて、今後役に立つことができる。
- 大変良い機会をいただいたと思う。



- 当団体のようにノウハウの乏しいNPOにおいては、企業とのつながり方を学び、実際のマッチングにも至り、本事業の意義をととても感じた。

## 2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 自分達の協働できることについての広がりが必要。また売り出すための案内ツールの作成。作成するにしても資金が必要なので、資金の調達など。
- 企業の意向を踏まえたうえでの訪問が必要かと思う。
- 企業の困りごとを聞きたい。企業からの困りごとプレゼンが欲しい。
- このマッチング事業で学んだ内容を活かして、当NPOとマッチングできそうな地元企業へアピールしていきたいと思う。
- 企業のほかにJCやRC、LCなどに働きかけていきたい。
- 各地域の企業及び参加者に、映画「二宮金次郎」の上映会の共同開催を提案することで、今後のさらなる事業マッチングの可能性が高くなると感じている。
- 名刺を交換させていただいた会社の方と、今後も折に触れ連絡を取っていきたい。
- 企業の業態にもよるが、福祉事業所の利用者が出来る仕事(主として軽作業・単純な作業)作業内容をもっと具体的に企業の方に理解してもらえるよう工夫したい。
- 具体的に企業にお願いしたいこと、協働したいことの準備不足を感じたので、法人内で受け入れ体制を整備する。
- 今後企業との協業に向け私たちが何を提供できるのかを整理し資料作りをするとともに、どんどん話を聞いてもらうこと。そして出会った企業の方との信頼関係を作っていかなければならない。
- 企業の求める事業が知りたい。
- 企業など各団体との関係・交流を広げていく。限られた人材、資源の制限のなかではあるが、現場活動のみならず異業種交流会や研修・カンファレンスなどに参加していきたい。
- 企業のニーズをまだまだとらえられていないので、まずはそこから思った。
- 当団体理念やミッションをご理解いただき、協働(協賛)企業の拡充を図る。

## 3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

### 【3-1. 実施時期(8月～11月)について】

- 適時であると思う。
- OK。
- 特に問題ないと思う。
- 問題ないと思う。
- 良いと思う。
- 事業開始(年度)後で、ちょうど良い時期だが、連携に関する事業計画を立てるため、もう少し早い時期から参加企業が分かるとたすかる。
- 適切だった。

- 次年度の予算組みの為、12月～4月が良い。
- 特に問題はなかった。あらかじめ全体の日程が組まれていたので予定通り参加できた。
- ちょうど良い。
- 年度の中間時期ということで良いのではないかと思う。(今年度は台風19号等水害があったが予測できない事なので仕方ないこと。)

### 【3-2. 福島・郡山・いわき・会津4地域に分かれての実施について】

- 特になし。
- 良いと思う。
- 県内3か所でいい。
- 特に問題ないと思う。
- 特に問題なし。
- 参加者が少ないことは予想されるが、あえて震災支援を踏まえ相双地域の開催があっても良いと思い。
- 良いと思う。
- OK。
- 地域ごとで大丈夫。
- 一地域の方が良い。
- 同市内での開催は時間的に調整が付き良かった。遠方であれば複数回の参加は困難と思う。
- とても良い。それぞれの地域によって企業の方も変わるので。
- 地域ごとのマッチング会は参加しやすい。

### 【3-3. 実施内容】

#### (1)アプローチ講座／プレゼン講座について

- 大体のNPOでは資金調達が大きな課題になっている。資金がないとマッチング活動ができないので、助成金との講座案内も同時にしていただければと思う。
- 大変勉強になった。汎用性が高いと思う。
- 大変役に立った。
- 特に問題なし。
- 有益な情報もあり考え方が整理されとても勉強になった。
- 初めてなので判断が付きませんが、いいと思う。
- OK。
- 順序だてて何が必要かわかりやすかった。
- 連続して参加ができず残念だった。いきなりマッチング会が開かれるわけではなく、プレゼンにアドバイスいただいた上で挑めるのは助かると思う。
- スキルアップのために多彩な講師陣からの指導を期待したい。
- もう少しじっくりレクチャーの時間(ロールプレイングの時間など)があるとなお良かった。

- 事前講座に参加できなかった内容について、出張してご教示いただき感謝したい。丁寧で分かりやすくご指導いただきマッチング会の準備が具体的にできた。

## (2) マッチング会

### ①NPOから企業へのプレゼンについて

- 十分な時間だと思う。
- NPOから企業へのプレゼン時間、10分必要。
- 大変役に立った。
- 特に問題なし。
- 適当な時間配分だと思う。
- 7分間プレゼンは自分を鍛えられました。
- OK。
- 短い時間に相手に伝える練習にもなり大変勉強になった。
- 時間も7分間はあっという間だと思ったが、要点だけに絞って相手に話すには適切だと感じた。どの企業の方も真剣に話を聞いてくださっていて最後まで話すことができた。場数を踏まないといけないなど感じた。
- 丁度よい時間だった。企業からNPOに期待する課題が事前に知らされていれば、なお的確に提案できたかなと思った。
- 7分でまとめるのは難しかったが、7分という時間、7分で伝える、7分で聞くというのはちょうど良いと思った。
- プレゼンのポイント等要領を得ていれば、本来の適当な時間であると思う。

### ②プレゼン後のNPOと企業との1対1トークについて

- 補足の説明ができて良かったと思う。
- NPO・企業向けにSDGSの学習会と組み合わせ、NPOと企業で2030年の数値目標を作って一緒に達成できると具体化できる。企業はまだやるべきことが見えてない、これが問題。
- 少しアピールが不足してしまった。
- 時に問題なし。
- その後の展開があればいいが、現在のところ無いので、自分から連絡をしていきたいと考えている。
- 初めてなので判断が付かないが、いいと思う。
- 実施すること、時間等も含めてOK。
- NPOと企業の参加比率のせいか、十分に話せなかったと思う。
- この時間が設けられたおかげで、どの企業の方とも1度は話すことができ、企業側もNPOの活動に興味関心を持ち、活用したいと思っていることを知れたことが良かった。アドバイスや激励を受け、営業資料作りに参考になった。
- 年度前の1月～3月に出来れば良いと思う。
- 企業側の思いやニーズ、連携の可能性などが具体的に把握できた。グループごとより個別方式のほうが効果的だと感じた。

- 全てのNPO、企業が話せるように仕組みを作っていただき、とてもありがたかった。
- 企業に応じてじっくり話ができ、当方を理解いただける重要な時間となった。

#### 【3-4. その他改善点や希望があれば】

- 私だけかもしれないが、立ち上げて間もなかったりすると右も左も分からず、マッチング講座に出ても自分が何をやるのか分からない状態だった。「協働」という取り組みを理解するために、協働している企業あるいはNPOに実際例を語っていただくとより早く具体的にわかるのではと思う。
- 企業の参加キャンセルが少ないと良いと思う。
- 企業が増えるとNPOも増える。また、インターンシップ事業と組み合わせられないか。
- 参加企業が増えるとありがたいなと思った。ただ、みなさん協力的にやられていたので本当に感謝したい。
- 自分達の活動を振り返りまとめると良い機会となった。
- サポートセンターからのマッチングの提案があればうれしい。
- もっと障がい福祉に関心がある企業の参加があればうれしい。
- 企業側のニーズ(どんなことで協働したいのか)が分からず、プレゼンしてもあまり盛り上がらない企業もあった。できれば事前に興味のあること(子供とか環境などのテーマ)を知ることができ、または興味別でマッチングをしても良いのではと思う。

#### 4. 昨年11月の「マッチング会」後に貴団体が独自に参加企業と協働について話をされましたか？ もしあればその内容や状況を教えてください。

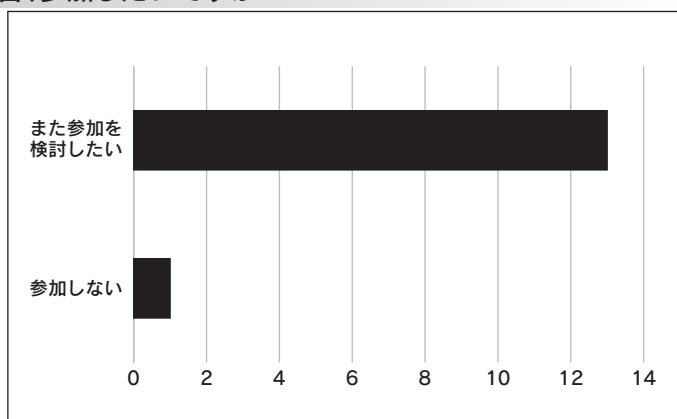
| 企業名           | 内容・状況等  |
|---------------|---|
| (株)クレハ環境      | 切り絵を通年展示協力頂きすでに設置展示している。  |
| いわき信用組合       | <p>■クラウドファンディング中。その発表も兼ねてイトーヨーカ堂平店にて1月中切り絵展示を実施した。いわき信用組合主催のビジネスマッチング交流会にブース出展。150社とマッチングの機会を頂き、切り絵展示の販売ができた。この中でいろいろな企業とお話させて頂いた。またいわき市からはふるさと納税の返礼品考えたいと色々アイデアを頂いている。</p> <p>■クラウドファンディングの案内。</p> |
| トヨタカローラいわき(株) | 店舗にNPOへの寄付付き自販機2台設置可能となり、年間売上の1%の寄付を得られる予定。さらに社員または家族の福利厚生への導入に関して提案中。  |
| (株)いちい        | <p>■店舗内で介護相談をしてみるようになった。</p> <p>■フォーズマーケットを紹介してもらった。協業について話し合い販促で協業できないか販売部に話してみるという状況。企画書や提案書を書いて再度アプローチする必要あり。</p>  |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 山口薬品(株)                     | 活動スペースの活用について。健康教室に使用しているスペースについて空き時間の活用について相談。若者の居場所(プログラム講座)で協働できないか提案している。具体的な活用方法については随時担当者とやり取りをして、会社の決済が下りれば利用可。   |
| (株)えこでん                     | 双方の活動の情報共有。先方が所属している「交易資本主義推進協議会福島準備会」の勉強会に参加させていただいている。今後も定期的に参加しネットワークを拡げていく。  |
| 鈴木行政書士事務所                   | オリンピックで猪苗代町のホストタウンであるガーナの選手団の通訳の情報を紹介してもらった。1名転入女性を紹介したが、具体的な話は進んでいない。   |
| 伊達貨物運送(株)                   | 当方のイベント事業に協賛していただいた。   |
| (株)エス・エス・シー                 | (これから進めていきたい)<br>団体のLINE活用とHPを作っていく。   |
| (株)ニラク<br>(第4回NPOのつどい 参加企業) | 先方の創業〇年の記念としての社会貢献事業のご提案。何度かご訪問し先方のご事情やご意向を伺い、事業アイデアについてこちらとしての案をお示めした。  |
| その他                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 次年度の予算が不確定なため、今のところ訪問活動を始めていない。今回参加された企業様の反応(アンケートの結果など)を教えて頂けると、今後行う訪問活動に役立つと思う。</li> <li>■ 10月の台風で事務局他会員多数が台風被害にあい活動が停止している。1月に今後に向けて話し合いをする。映画祭会場も今年8月頃までに修理のため、使用できない状況。</li> <li>■ 11/30の10周年記念の案内を名刺を交換させていただいた企業に出したが、期間が短かったこともありお越しいただくまでには至らなかった。でも丁寧にお返事を下さった企業様もあり今後お声がけを続けていこうと思っている。</li> </ul> |

※上記については「10.マッチング会後の成果」にもまとめて記載あり

## 5. 来年度(令和2年度)も同事業が実施された場合、参加したいですか？

|          | 回答数 | %     |
|----------|-----|-------|
| 参加を検討したい | 13  | 92.9  |
| 参加しない    | 1   | 7.1   |
| 回答者数     | 14  | 100.0 |



### <理由>

#### 【参加を検討したい】

- いろいろな企業とマッチングできるチャンスを探りたい。
- もっと企業と深くつながってゆきたい。
- 大変すばらしい企画だから。
- 一度でうまくいくことはないので、再チャレンジしたい。
- 参加企業にもよるが、新しい出会いの機会なので、ぜひ参加したい。
- 人材確保ができれば参加させたい。
- なかなか企業の皆様と出会う機会が少ないため。

## 令和元年度NPOと企業等のマッチング事業 事後アンケート 集計(企業)

◆参加法人 14企業(令和2年2月実施)

◆アンケート回答数 11(回収率78.6%)

### 1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- NPOから具体的なマッチング希望事業(企業)の話があるとよかった。
- 企業とNPOとが同じテーブルの上で直接意見交換ができたのが非常に良かった。
- 新しい出会いがあり有意義だった。
- 新たな出会いがあり非常に良かった。
- 皆様の熱い思いが伝わって感動した。
- マッチングする法人関係者は少ないものの、例年様々な出会いがあり関わりも増えている。
- 色々なNPOと情報交換ができ有意義だった。
- NPOとの連携の可能性を考える上で良い参考になった。
- NPOの具体的な活動内容を知ることができ大変勉強になった。
- 多彩なNPOとお話をするのができ有益だった。
- 事業に関する様々な話、相談があり、非常に有意義であった。

### 2. NPOとの協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 当社との事業成長が見込まれるNPOと協働したい。
- 今後も地域に根差した事業活動を推進するものであり、協働可能なNPOとのコンタクト機会を設けていきたい。
- 社会活動についての情報交換の場として、また開催していただきたい。
- 与えられるだけでなく、共存共栄できる“協働”を期待する。
- 一般の人々にPRして団体の存在や活動内容がもっと広く伝わらないかなと思う。
- 「地域課題の解決」という共通の目的の為に、更なる協働の輪を拡げていきたい。
- 今後も引き続き関係を深くしていきたい。
- 地域の情報発信の分野で協働ができるのではと考えている。
- 日本金融公庫として、ソーシャルビジネスの担い手であるNPO法人に対する多面的支援を継続する。資金面のみならず、情報面での支援も継続するので、多様なNPO法人に政府系金融機関としての取組みを周知する場を期待している。

### 3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

#### 【3-1. 実施時期(11月)について】

- 特に、いつでも可。
- 単発での開催ならば、11月で特段の不都合無し。定期開催の場合には、頻度、スケジュールともに要検討。
- 特に問題ないと思う。。
- 9～10月頃の方が助かる。

- もう少し早い時期(8月～10月)を希望。
- 7月開催の「NPOのつどい」との関連性が不明だった。
- 特に問題ない。但し、年度当初に開催頂けるとより継続的な対応につながる可能性がある。

### 【3-2. 福島・郡山・いわき・会津4地域に分かれての実施について】

- 地域密着型でコンパクト開催の印象があったが、事業所所在地の近隣でも、たくさん数、種類のNPOが活動していることに改め気付かされた。
- 合同もあると良いと思う。
- 特に問題ないと思う。
- 今後も継続してほしい。(信用組合の場合、営業エリアが限定されているため、いわきでの開催がなくなると参加が難しくなる。)
- 問題ないが福島と郡山は合同でもよいのではと思う。(一部同じNPOが参加していたので。)
- 参加者の移動負担が軽減されるので良いと思う。
- 経済圏からは適切であると思う。参加者数の懸念があるが、相双地区のNPOが参加しやすい場所で開催しても良いかと思う。

### 【3-3. 実施内容】

#### (1) NPOから企業へのプレゼンについて

- 聞く側としては適正な時間配分と感じた。プレゼン側は少々物足りないか、あるいは作戦不足の印象を受けた。
- もう少し話す内容をブラッシュアップすると良いと思う。
- ちょうど良いと思う。
- 主に活動の紹介でしたので、どのような企業とどのような協力があるのか分かるようにプレゼンをしてほしかった。
- 10分程度までであれば違和感なし。
- 少し長い。5分くらいがいいのではないか。
- 現状の参加者数であれば適切。参加者が増える場合、短くしたほうが良い。

#### (2) プレゼン後のNPOと企業との1対1トークについて

- ざっくばらんな意見交換ができて非常に有益な印象。特に企業の立場ではなく、プライベートな視点でも興味を惹かれた。
- もう少し時間が欲しかった。
- もう少し時間が取れば良いかなと思った。
- 個人的に一生懸命さが伝わったが、企業としては協働は難しいと思った。
- 今後も継続してほしい。
- あまり興味がないNPO様とは時間をかけたくない。(宗教的なNPOもいた)
- 良い形だと思う。



### 【3-4. その他改善点や希望があれば】

- 取っ掛かりのアイスブレイクに一ひねりがあると、その後の場の展開や盛り上がりにも非常に有益ではと感じた。
- 企業側へ寄付のみ要求するのではなく、協働ということを再度、考えていただきたい。
- 参加NPOがあと少し増えればなお良い。
- もう少し参加NPOが多ければ。1対1トークは、ある程度決めさせてほしい。(企業サイドでNPOを選べるように)
- 参加するNPOと企業が増えると良いと思った。
- 参加者数がより増えると実効性が増すものと思う。簡単ではないと思うが、引き続きイベントの周知に努めていただきたい。(ポスター掲示など可能な限り協力したい。)

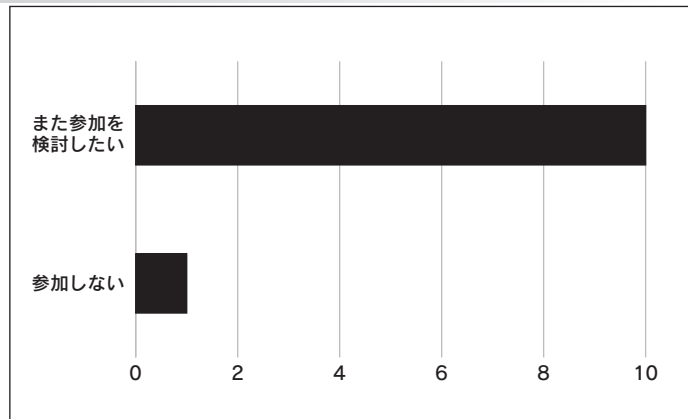
### 4. 昨年11月の「マッチング会」後に御社独自に参加NPOと協働について話をされましたか？ もしあればその内容や現在の状況を教えてください。

| NPO名                      | 内容・状況等   |
|---------------------------|--|
| NPO法人 青陽                  | <p>■発達障害、学習障害のある学生の切り絵作品を弊社本社受付に展示し、来訪者へ趣意案内文と一緒に公開。現在も継続展示中(2020年1月現在)。今後、作品の入れ替え展示等も提案中。</p> <p>■NPOの事業運営資金について当組合が開設しているクラウドファンディングサイトを通して募集している(地元紙にもリリースして、記事にしてもらう)。更に当組合が年に一度開催しているビジネスマッチングにも出展参加いただき、市内の様々な事業者に取り組をPRして頂いた。</p> |
| NPO法人 青空保育たけの子            | 当社製作の「せかいタンブラー」の委託販売を申し出てくださった。  |
| 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部         | 2/14小野ふれあいオフロードパーク3時間耐久レースに協賛させて頂いていた。   |
| 特定非営利活動法人 Commune with助産師 | 「マッチング会」終了後、上記のビジネスマッチングに招待。当組合との連携を呼びかけ。  |
| 一般財団法人 ふくしま百年基金           | 東京で“ソーシャルベンチャー”を支援している企業を紹介。山崎代表が同社を訪問し、意見交換した。  |
| 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま        | 5月以降、月1回ぐらいのペースで子ども食堂を実施する予定。  |
| 一般社団法人 fukucier           | 介護事業支援として、2月11日、3月11日、4月11日に相談会実施予定(店舗入り口にて)。  |
| ベルフォンテ                    | <p>■販売支援として4月以降具体的にフォーズマーケットでの取組みを始める予定(商談済)。</p> <p>■東京オリンピックホストタウン関連通訳業務(ボランティア)を紹介した。</p>   |
| その他全団体                    | ワークショップや販売で何か協力できるかなと思った。  |

※上記については「10. マッチング会後の成果」にもまとめて記載あり

## 5.来年度(令和2年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

|            | 回答数 | %     |
|------------|-----|-------|
| また参加を検討したい | 10  | 90.9  |
| 参加しない      | 1   | 9.1   |
| 回答者数       | 11  | 100.0 |



### <理由>

#### 【参加を検討したい】

- 様々な形での地域貢献ができればと考えている。
- 情報交換したい。
- 上記の通り、様々な出会いがあるため。
- 今後も引き継いで進めていきたい。
- 有意義な場であるため。

## 10 マッチング会後の成果

令和元年11月に実施した「NPOと企業との協働マッチング会」の後の参加NPOと参加企業との協働に関する成果または令和2年3月現在の進行状況は以下のとおり。(団体名・企業名等 敬称略)

### 報告(1) 子ども食堂での連携・協力

■NPO／特定非営利活動法人 ビーンズふくしま(福島市)

■企業／株式会社 いちい(福島市)、桜の聖母短期大学(福島市)

#### ①協働事業の内容

上記3者による子ども食堂「フォーズキッチン」の定期的な共同実施。主な役割分担としてビーンズふくしまは運営ノウハウの提供、いちいは実施場所および食材等の提供、桜の聖母短期大学はボランティアとして学生の協力を行う。令和2年5月より月1回程度、いちい「フォーズマーケット」(福島市山下町)にて実施する。

#### ②双方のメリット

■NPO／子ども食堂の実施促進

■企業／(いちい)社会貢献。店舗スペースの有効活用。食品ロスの軽減。

(桜の聖母短期大学)学生の地域貢献活動への参加による教育推進。

#### ③成果または進行状況

第1回「フォーズキッチン」を令和2年5月15日(金)16:30より実施する。

地域の子どもの居場所 多世代交流の場

# フォーズキッチン

食べる 遊ぶ 学ぶ

**日時** 5月15日(金) 16:30~19:00  
好きな具を入れて「おにぎり」と「肉じゃが」を食べよう♪  
マイ皿、マイスプーンやマイ箸のご持参にご協力お願いします。  
(主なアレルギー：豚肉、鶏肉、大豆、小麦、乳成分、こめ等)  
※調理過程でその他アレルギー物質の混入の可能性があります。)

**場所** フォーズマーケット  
福島市山下町1-29  
2階クックラボ

**参加費** 無料  
当日参加OK

**フォーズキッチンとは？**  
子どもたちが学び・遊び・食事を通して、安心して過ごせる居場所を生み出すと同時に、子どもも大人もつながりあい、地域で子どもの育ちを支えることを目的としています。

**フォーズキッチンを応援して頂ける方 大募集!!**  
ご寄付・食材のご提供・調理や子どもたちとの関わり・ボランティアなど

【共同主催】 特定非営利活動法人ビーンズふくしま／株式会社いちい  
【協力】 桜の聖母短期大学  
【問い合わせ先】 特定非営利活動法人ビーンズふくしま 担当：江藤大裕  
TEL080-4184-9438 メール：info-kodomonobasyo@beans-fukushima.or.jp

fig01 フォーズキッチン チラシ

## 報告 (2) 障がい者作品の展示スペース提供

■NPO／NPO 法人青陽 (いわき市)

■企 業／株式会社 クレハ環境 (いわき市)

### ①協働事業の内容

クレハ環境本社受付にて、青陽の支援する学生の「切り絵作品」の通年展示スペースを設けた。また観覧者に青陽の活動を理解いただくために「活動趣意文書」もあわせて掲示している。

### ②双方のメリット

■NPO／自団体の活動を企業訪問者および企業社員にPRすることが出来る。

■企 業／通年で展示することで、地元への社会貢献をPRすることが出来る。

### ③成果または進行状況

令和元年11月のマッチング会終了後より展示し、現在も継続展示中。また今後、作品の入れ替え展示も検討中。



fig02 株式会社 クレハ環境本社受付展示のようす

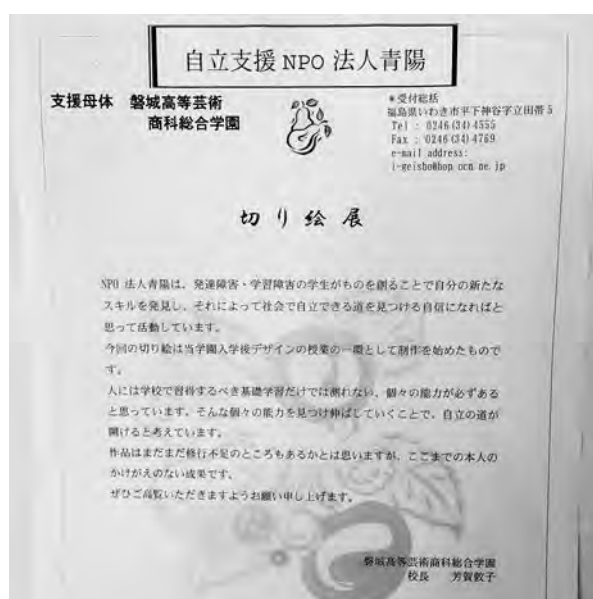


fig03 NPO法人 青陽の活動趣意文書の掲示

## 報告 (3) 介護相談会の実施

■NPO／一般社団法人 fukucier（会津若松市）

■企業／株式会社 いちい（福島市）

### ①協働事業の内容

NPOの介護保険外サービスのノウハウを利用して、企業の店舗の空きスペースで介護相談会を実施する。

### ②双方のメリット

■NPO／自団体の活動(介護保険外サービス)を広く市民に告知できる。

■企業／地域の社会貢献としてPRできる。店舗スペースの有効活用。

### ③成果または進行状況

いちい福島西店にて「介護のお悩み相談会」(相談無料)を3回(令和2年2月11日、3月11日、4月11日)実施。

介護のお悩み相談会

ご相談無料

今までになかった“介護の新しいカタチ”を  
福島県内広域で展開する一般社団法人ふくしえが、  
いちい様の一角をお借りして  
介護のお悩み相談会を開催いたします。  
お買い物ついでに、お気軽にお立ち寄りください。  
ご家族やあなたのご相談をお受けします。

2020年2月11日(火・祝)  
3月11日(水)  
4月11日(土)  
10:00—18:00  
@いちい 福島西店  
入り口付近

ふくしえ × いちい  
Fukucier and Ichii presents  
The meet is consult  
about a trouble about nursing.

◆介護サービスを知りたい  
◆今は、元氣だけど、不安がある  
◆離れて暮らす親が心配  
◆寝たまりにはなりたくない  
◆外出、買物、見守り、介助等で困っている  
◆障がいがあっても働きたい  
◆身寄りがなく、賃貸住宅が借りられない

◆ケアマネジャー  
◆社会福祉士  
◆介護福祉士  
◆看護師

「お問い合わせ」  
fukucier  
一般社団法人 fukucier  
Tel.0242-93-7272  
Fax.0242-93-7277

fig04 介護のお悩み相談会 チラン



fig05 店舗入口での相談コーナー設置のようす

■ NPO / 特定非営利活動法人 裏磐梯エコツーリズム協会 (北塩原村)

■ 企業 / エヌケー・テック 株式会社 (郡山市)

① 協働事業の内容

エヌケー・テック株式会社が実施している公的職業訓練(ハロートレーニング)のDTP-WEBデザインコースの訓練生の教材として、特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会が開催するイベント「親子の夏休み自由研究プログラム」(令和元年7月27日、8月3日、8月17日実施)の広報物(ポスター・チラシ等)を企画制作する。

② 双方のメリット

■ NPO / 職業訓練生といえどデザイン知識のある人たちに広報物制作という形で自団体事業の広報の一部をお手伝いいただける。また制作企画から関わっていただくことで企業及び訓練生に自団体事業や活動をPRすることができる。

■ 企業 / 職業訓練の教材として地元の実際のイベントを取り上げることで、実践的な訓練をすることができる。また企業の社会貢献をPRできる。

③ 成果または進行状況

令和元年6月職業訓練生の自由応募によるチラシの制作を開始。23のデザインが集まる。NPOでそれらを選考しデザインが決定。7月にチラシが完成した。その後NPOによりイベント会場周辺地域等にイベント告知として配布した。



fig06 「親子の夏休み自由研究プログラム」チラシ

■特定非営利活動法人 ビーンズふくしま (郡山市)

◎山口薬品 株式会社 (郡山市)

企業が健康教室実施で使用しているスペースの空き時間の活用としてNPOから若者の居場所(プログラム講座)実施の提案中。

◎株式会社 えこでん (郡山市)

企業が所属する「公益資本主義推進協議会 福島準備会」の勉強会にNPOが参加し今後の協働のためのネットワークを拡充中。

---

■一般財団法人 ふくしま百年基金 (福島市)

◎いわき信用組合 (いわき市)

東京のソーシャルベンチャー支援企業をNPOに紹介。

◎株式会社 ニラク (郡山市) ※令和元年7月23日実施「第4回福島県NPOのつどい」参加企業

企業の創業周年記念への社会貢献事業をNPOから提案中。

---

■NPO 法人 青陽 (いわき市)

◎いわき信用組合 (いわき市)

①信組が実施するクラウドファンディングをNPOが実施。

②信組が主催するビジネスマッチング交流会でNPOがブース出展し約150社とマッチングの機会があり、また切り絵作品販売につながる。

---

■特定非営利活動法人 Commune with 助産師 (いわき市)

◎トヨタカローラいわき 株式会社 (いわき市)

①企業の店舗にNPOの寄付付き自販機の設置を提案し、2台設置する方向で進行中。

②企業の福利厚生としてNPOが実施する事業の導入を提案中。

◎いわき信用組合 (いわき市)

信組が実施するクラウドファンディングをNPOへ提案中。

---

■特定非営利活動法人 青空保育たけの子 (福島市)

◎株式会社 えこでん (郡山市)

企業が制作した社会貢献タンブラー(製品)をNPO事務所にて委託販売。

---

---

■ベルフォンテ（福島市）

◎株式会社 いちい（福島市）

企業店舗にてNPOが制作した製品等の販売支援（令和2年4月以降実施予定）。

◎鈴木実 行政書士事務所（二本松市）

猪苗代でのオリンピックホストタウン（ガーナ選手団）の通訳委託業務をNPOに紹介。

---

■特定非営利活動法人 小野自然倶楽部（小野町）

◎伊達貨物運送 株式会社（伊達市）

NPOのイベント「小野ふれあいオフロードパーク3時間耐久レース」（令和元年12月14日実施）へ企業から協賛金の提供。

---

■特定非営利活動法人 寺小屋方丈舎（会津若松市）

◎株式会社 エヌエスシー（会津若松市）

NPOのLINE活用での企業からの協力提案。

---

※以上、令和2年2月実施「事後アンケート」より抜粋



令和元年度 NPO強化による復興創生事業  
「NPO、企業、学生との連携・協力事業」業務および  
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

## **NPOと企業等のマッチング事業 報告書**

---

令和2年3月 発行

### **ふくしま地域活動団体サポートセンター**

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階  
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741  
URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託: 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課  
事業受託: 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

---